

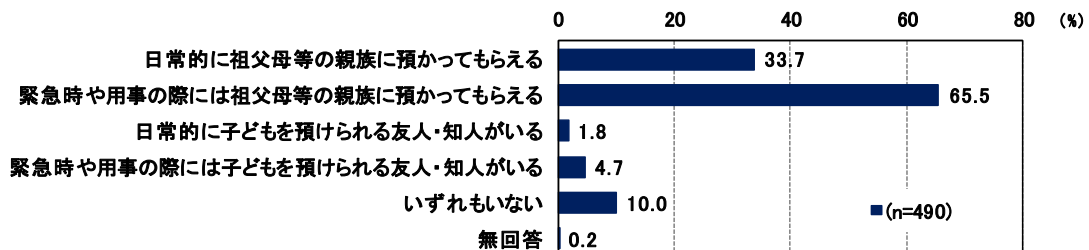
資料編

1 アンケート調査主要結果

(1) 預かってもらえる人について

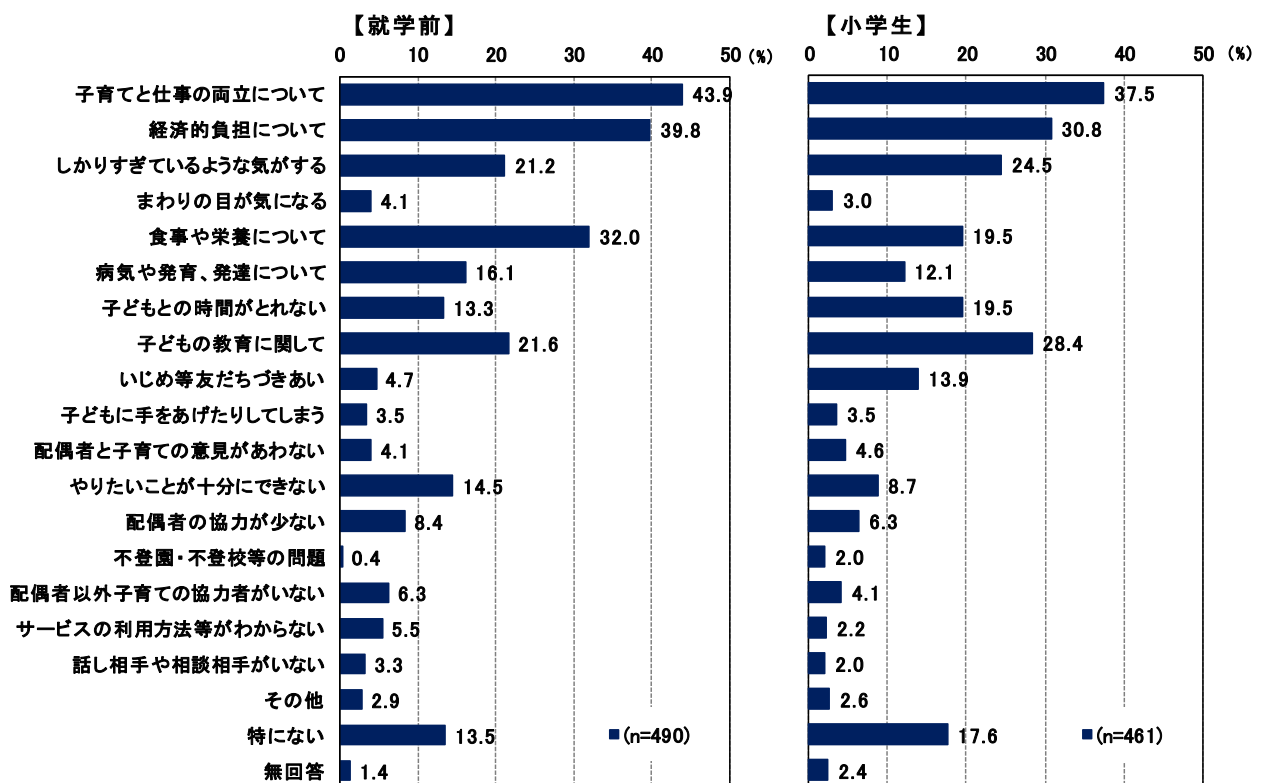
① 預かってもらえる人

■ 日頃、お子さんを預かってもらえる親族・知人 ■ (就学前のみ)



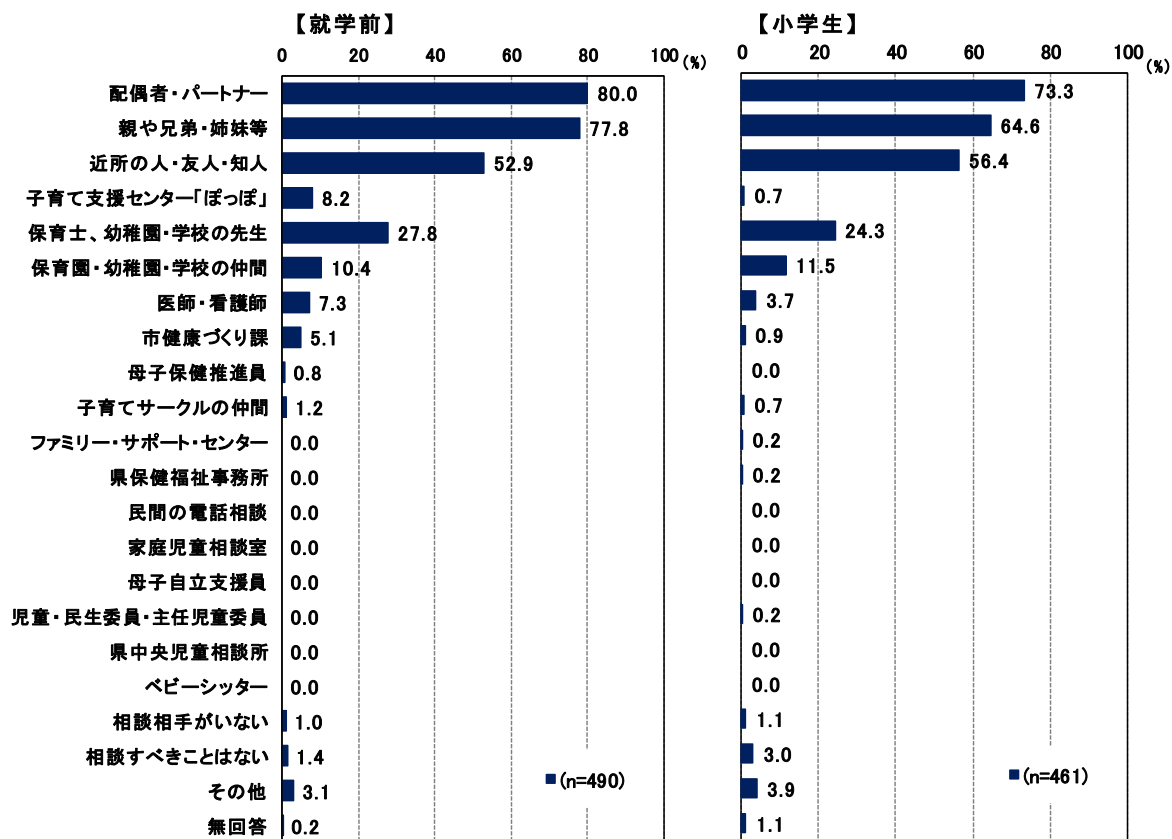
② 子育てに関する悩み

■ 子育てに関する悩み ■



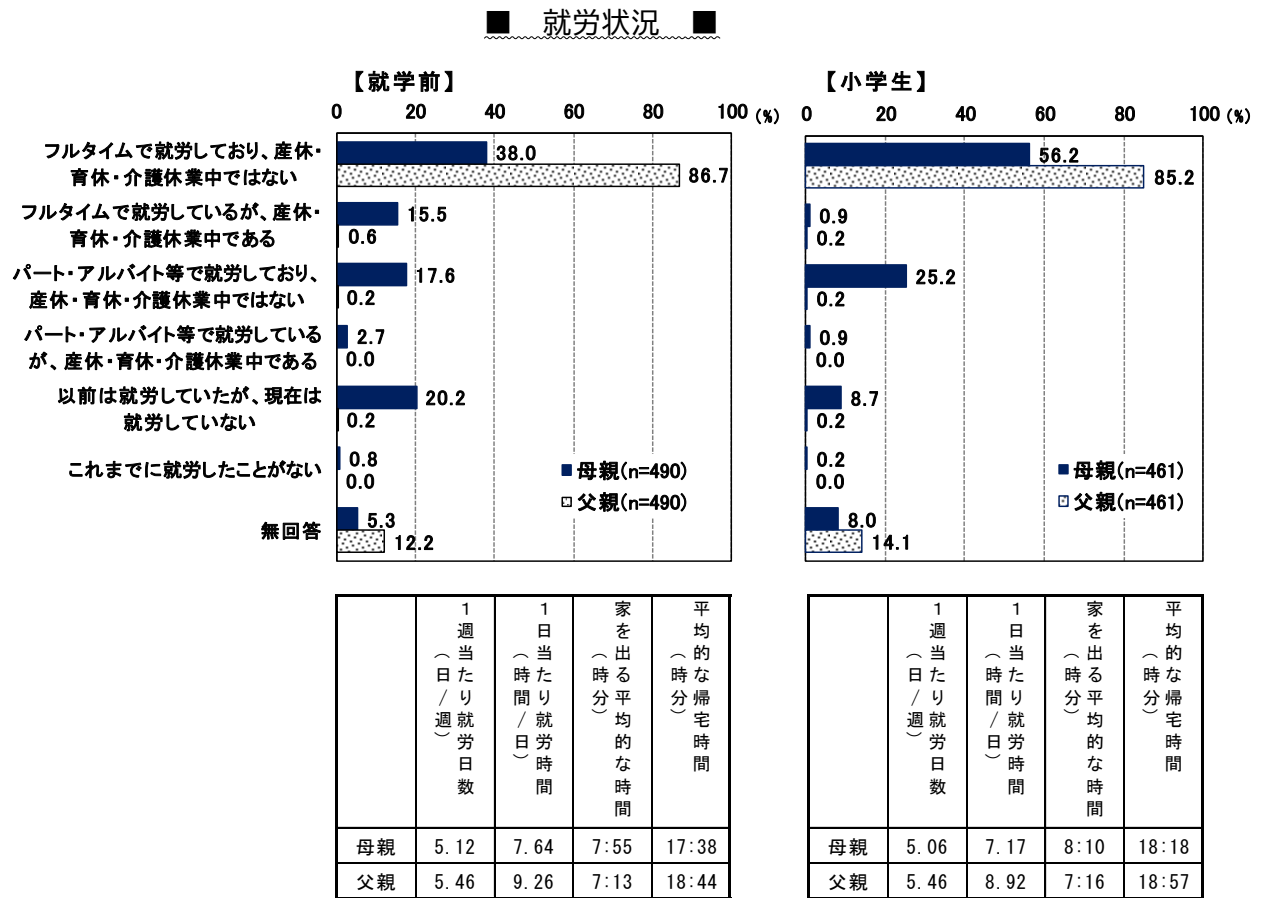
③子育ての悩みや不安についての相談場所・相談相手

■ 悩みや不安についての相談場所・相談相手 ■

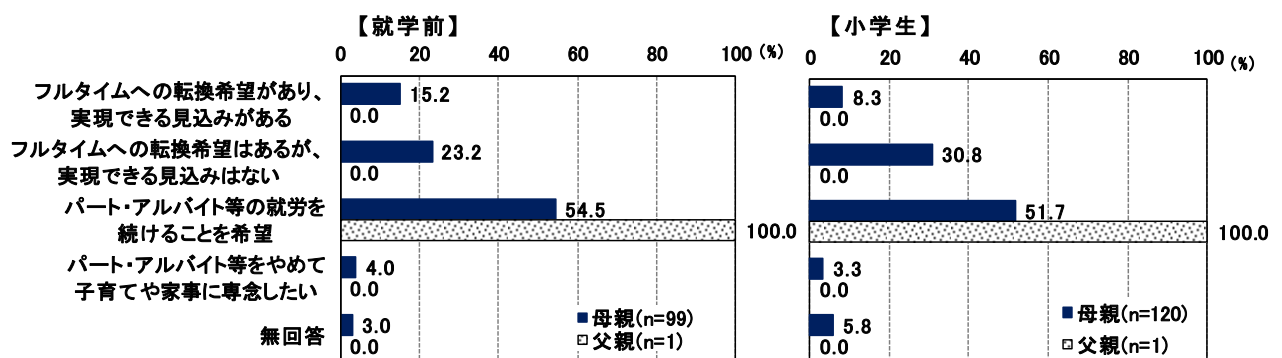


(2) 保護者の就労状況について

①就労状況

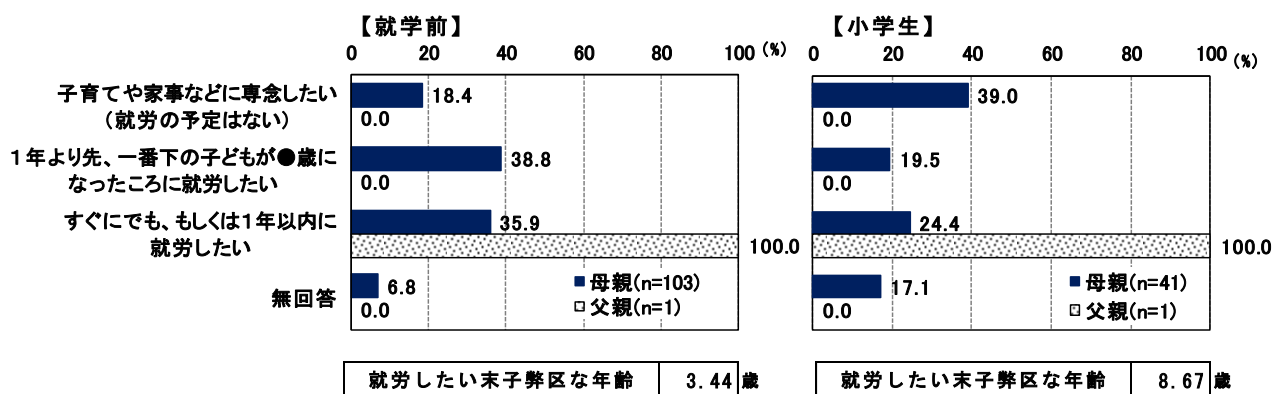


②パートタイム・アルバイトからフルタイムへの転換希望

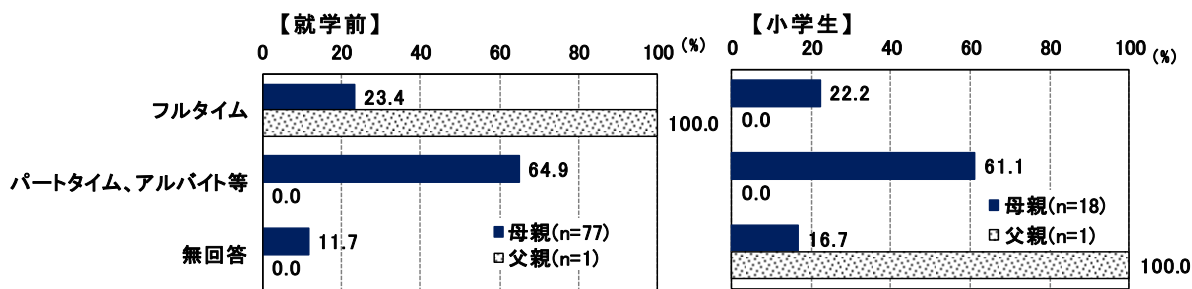


③現在就労していない人の就労意向

■ 現在就労していない人の就労意向 ■



■ 希望する就労形態 ■



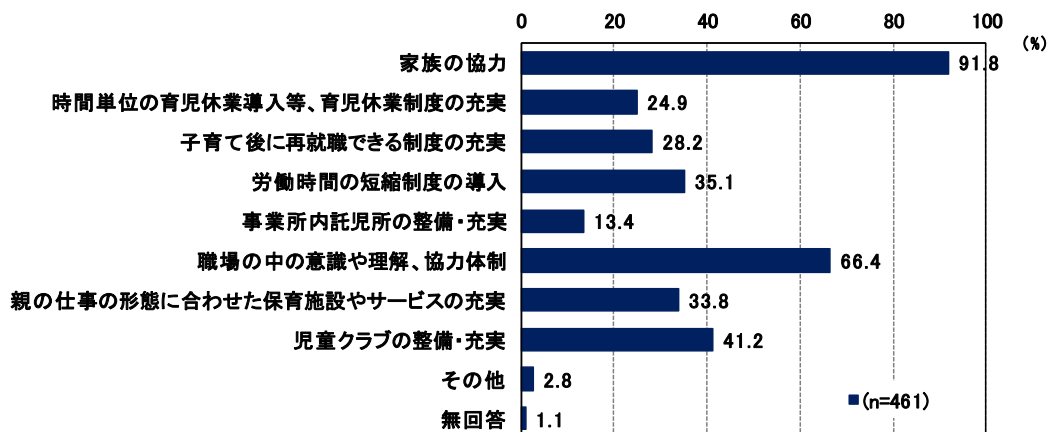
■ パート・アルバイト等の希望する就労形態

母親	1 週当たり就労日数	4.24	日
	1 日当たり就労時間	5.43	時間
父親	1 週当たり就労日数	-	日
	1 日当たり就労時間	-	時間

母親	1 週当たり就労日数	4.40	日
	1 日当たり就労時間	5.00	時間
父親	1 週当たり就労日数	-	日
	1 日当たり就労時間	-	時間

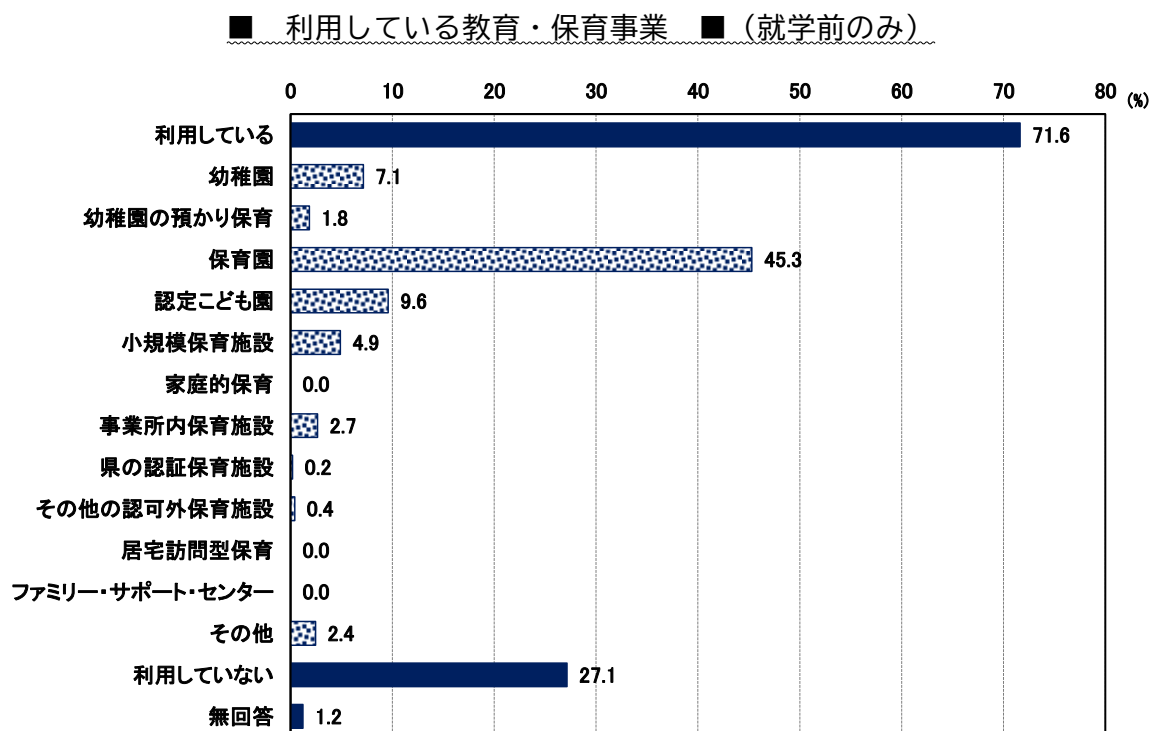
④仕事と子育てを両立するために必要なこと

■ 仕事と子育てを両立するために必要なこと ■ (小学生のみ)



(3) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前）

①利用している教育・保育事業



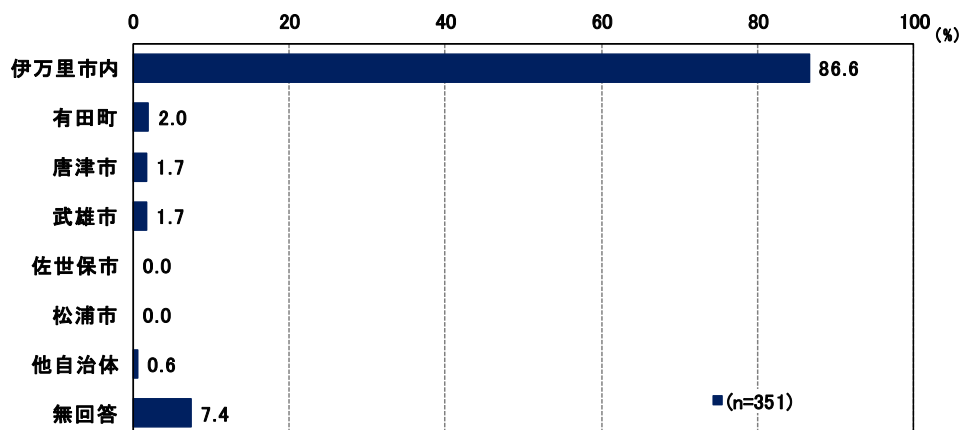
②教育・保育事業の利用日数、時間

■ 利用日数、教育・保育時間、開始・終了時刻の平均 ■（就学前のみ）

	利用日数 (日／週)	教育・保育時間 (時間／日)	開始時刻 (時刻)	終了時刻 (時刻)
現 在	5.3	8.39	8 時 19 分	16 時 55 分
希 望	5.3	8.71	8 時 18 分	17 時 17 分

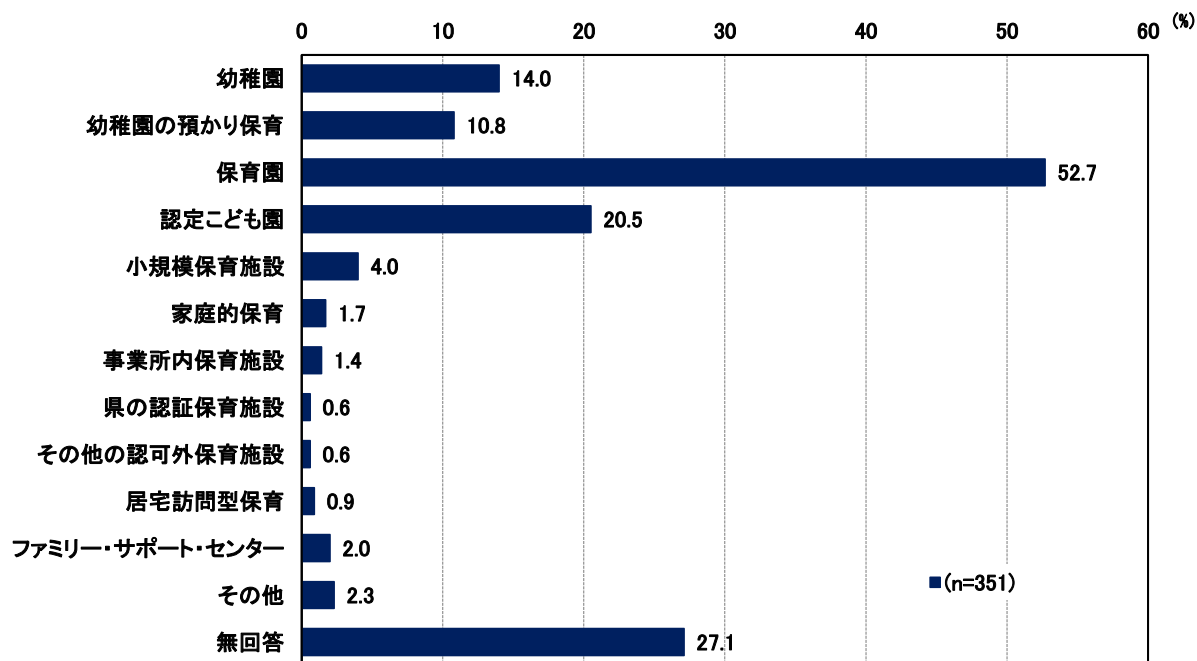
③教育・保育事業を利用している場所

■ 現在、利用している教育・保育事業の実施場所 ■（就学前のみ）



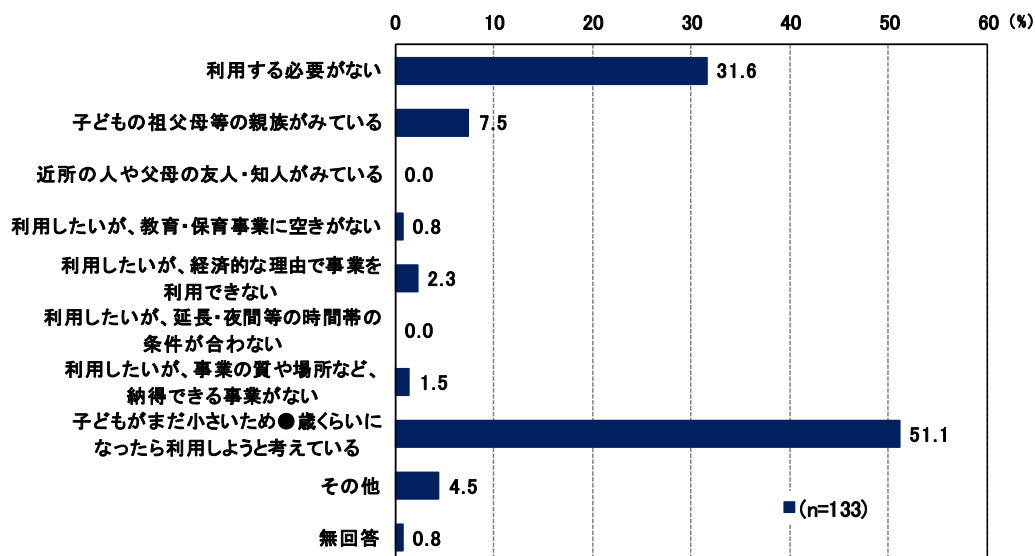
④教育・保育にかかる負担が無償または上限付き補助となった場合の利用変更意向

■ 無償または上限付き補助となった場合の利用変更意向 ■ (就学前のみ)



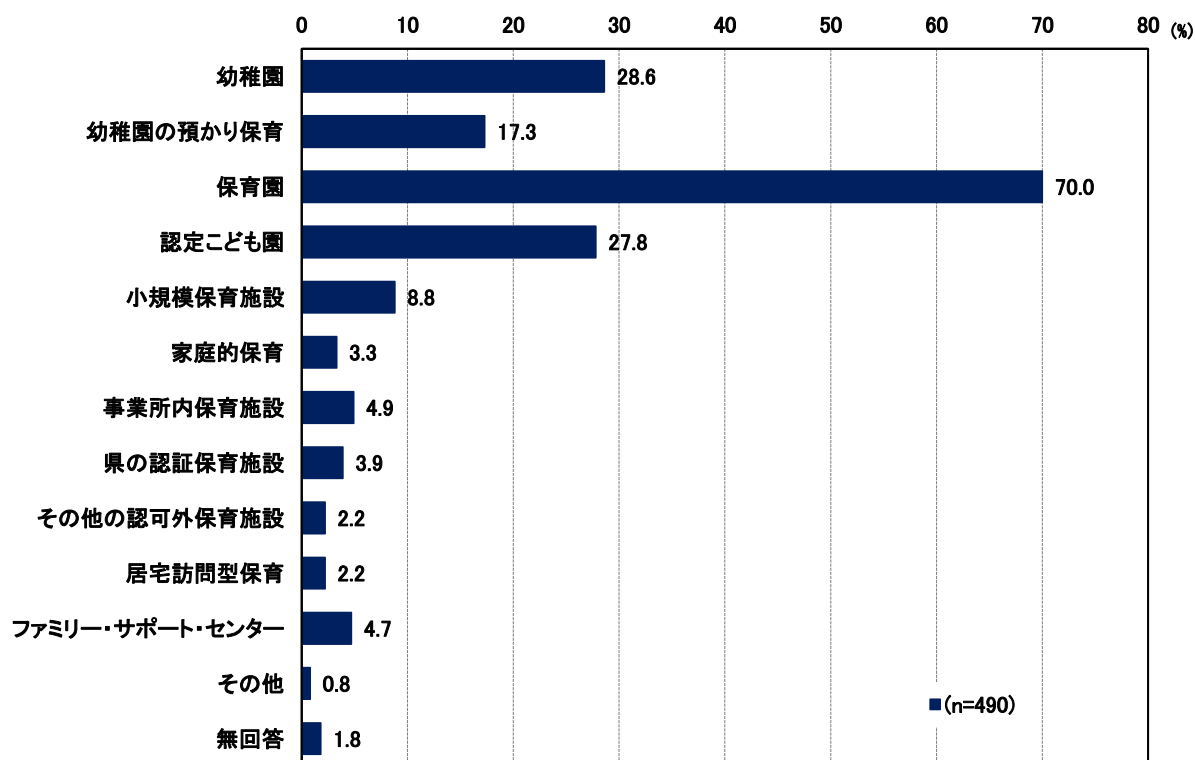
⑤教育・保育事業を利用していない理由

■ 教育・保育事業を利用していない理由 ■ (就学前のみ)



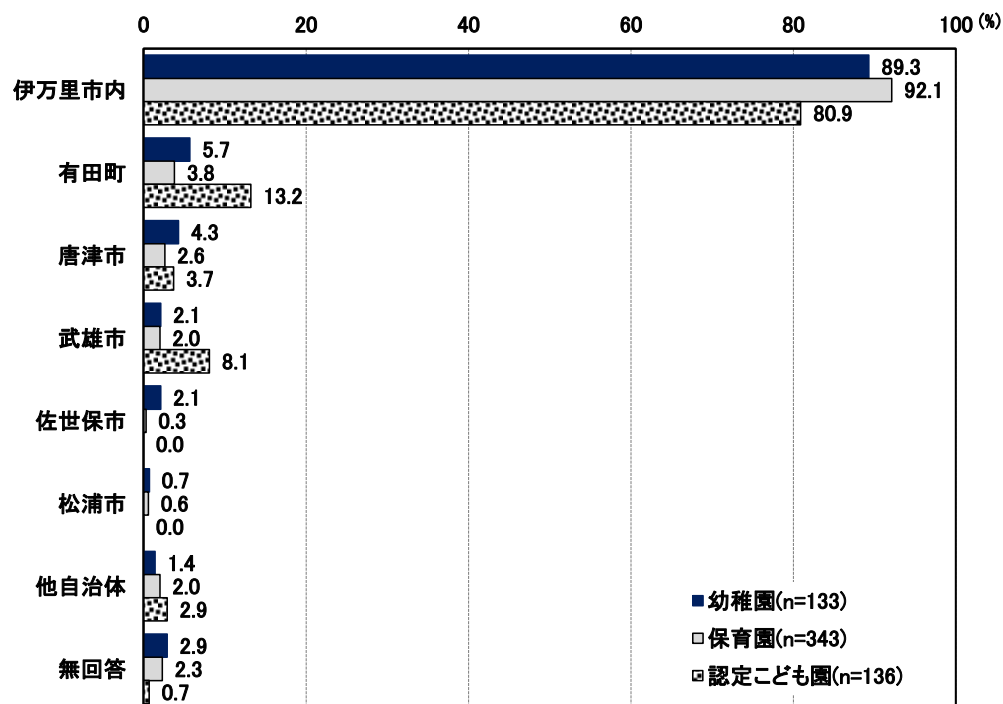
⑥今後、利用したい教育・保育事業

■ 今後利用したい教育・保育事業 ■ (就学前のみ)

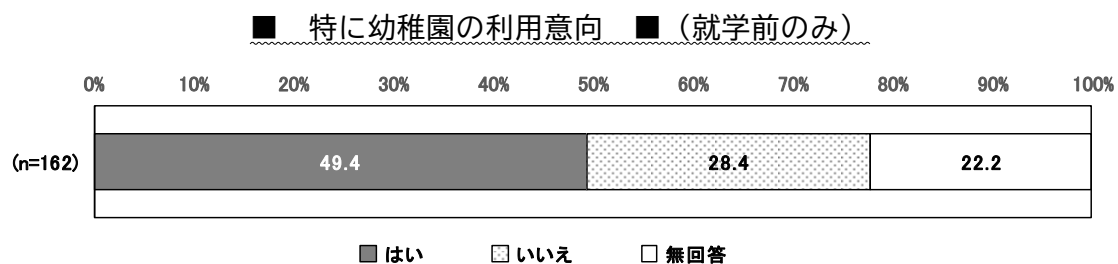


⑦今後、利用したい教育・保育事業の利用場所

■ 今後、利用したい教育・保育事業の利用場所 ■ (就学前のみ)



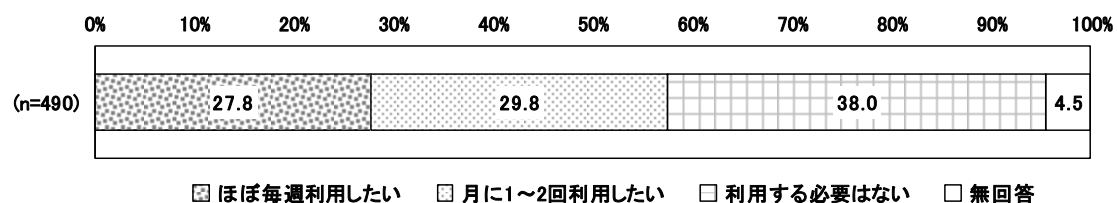
⑧特に幼稚園の利用意向



(4) 土曜日・日曜日・祝日の「定期的」な教育・保育事業の利用意向について

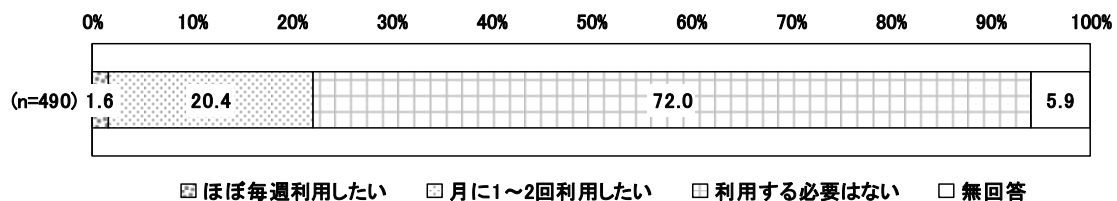
■ 利用状況 ■ (就学前のみ)

【土曜日】



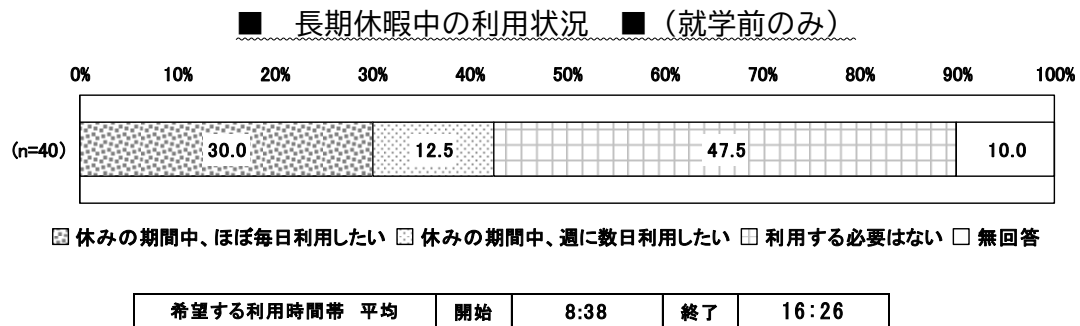
希望する利用時間帯 平均	開始	8:11	終了	16:44
--------------	----	------	----	-------

【日曜日・祝日】



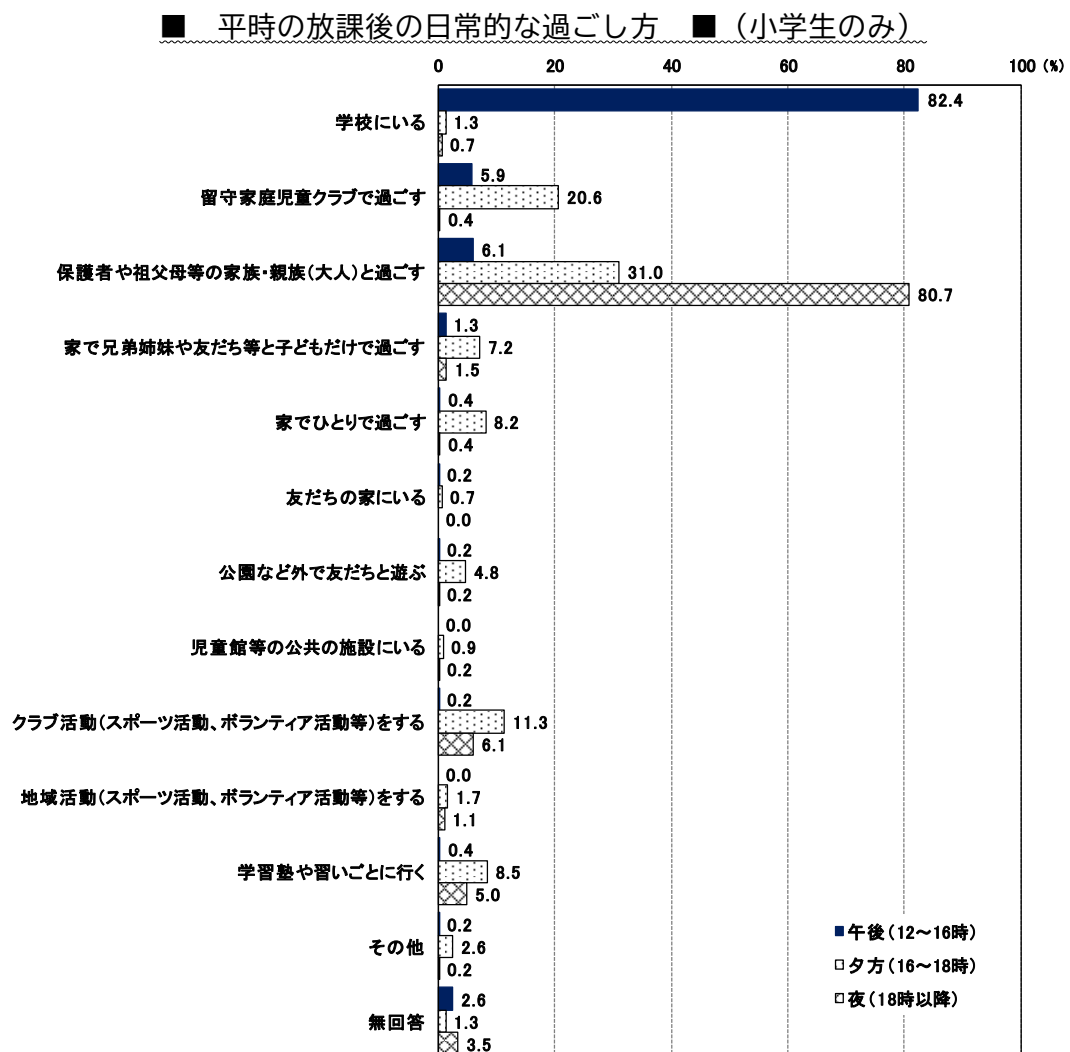
希望する利用時間帯 平均	開始	8:13	終了	17:00
--------------	----	------	----	-------

(5) 長期休暇中の教育・保育の利用希望について（現在、幼稚園を利用している人のみ）



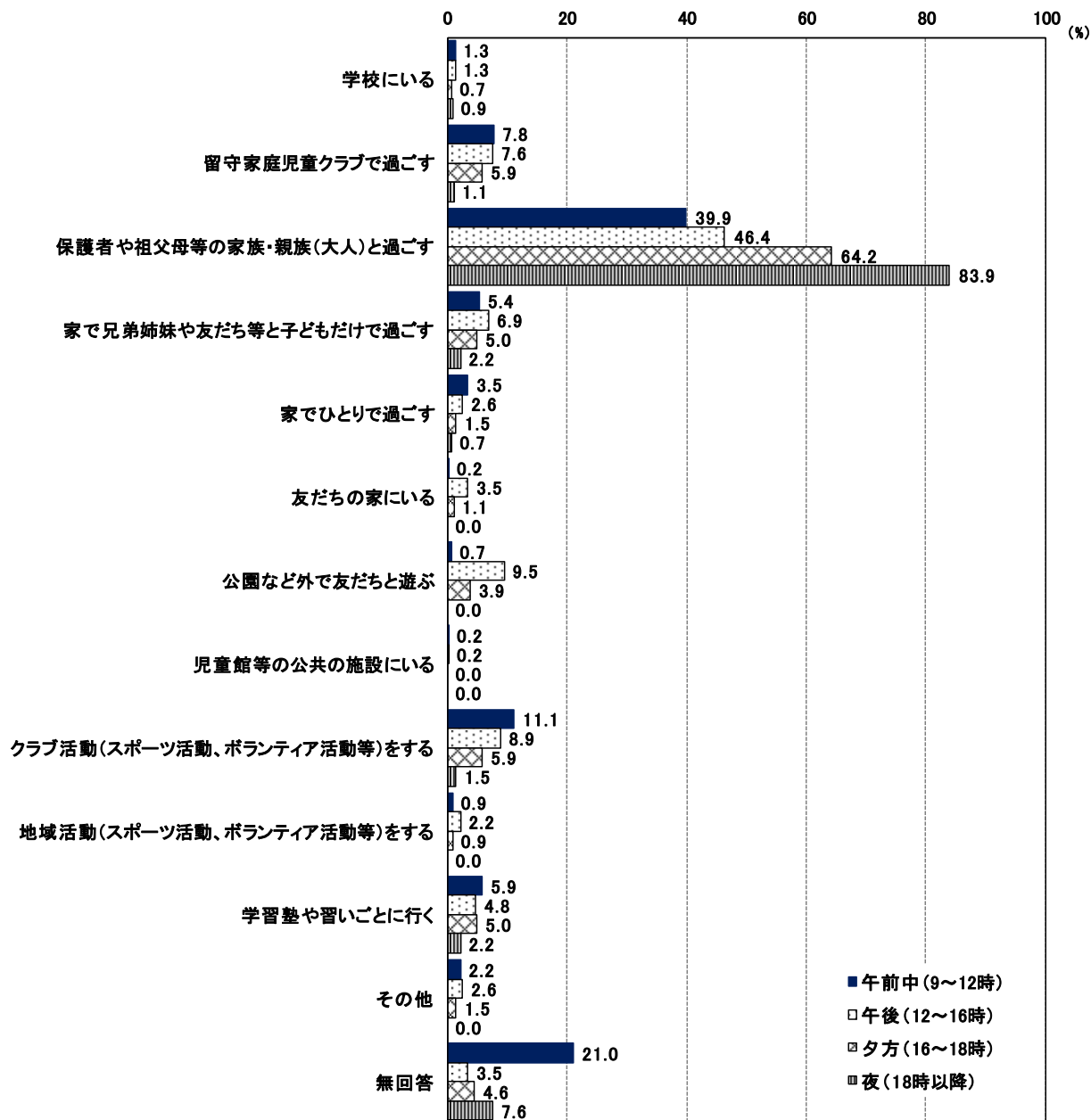
(6) 小学生の日常的な過ごし方（小学生のみ）

① 平日の放課後の日常的な過ごし方



②土曜日の日常的な過ごし方

■ 土曜日の日常的な過ごし方 ■ (小学生のみ)

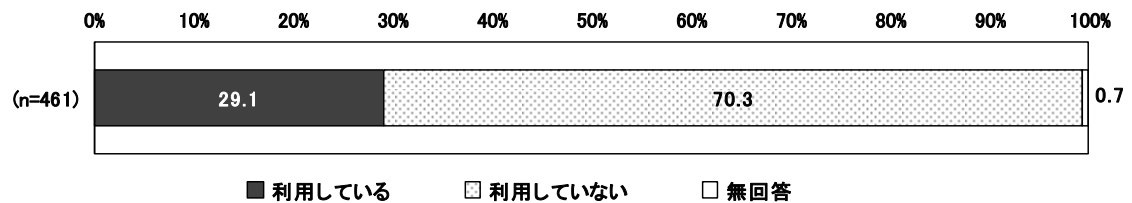


(7) 留守家庭児童クラブの現在の利用状況

①利用状況

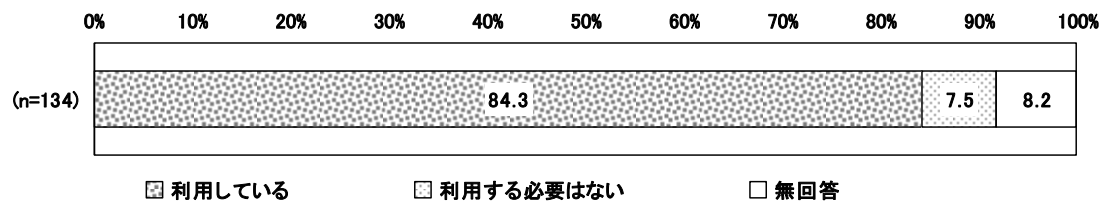
■ 全体としての利用状況 ■ (小学生のみ)

【利用有無】



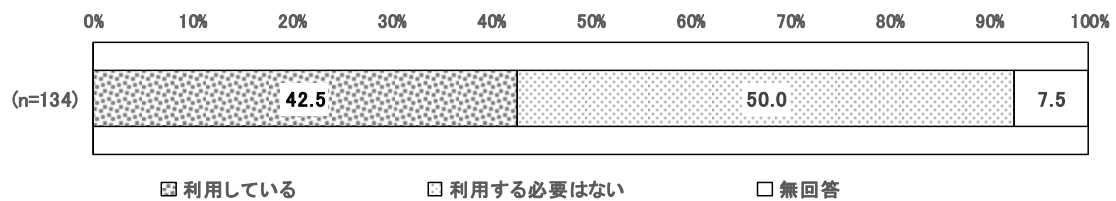
■ 曜日別の利用状況 ■

【平日】



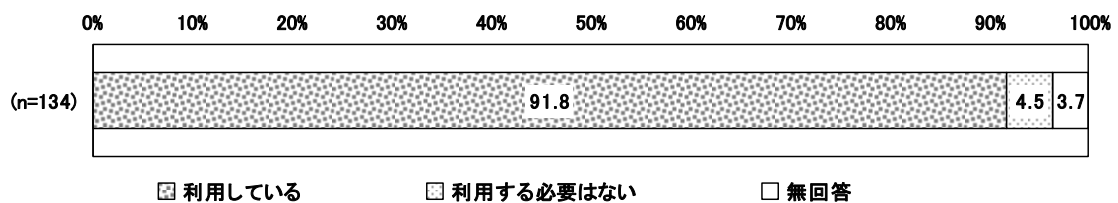
利用時間帯 平均	開始	15:19	終了	17:34
----------	----	-------	----	-------

【土曜日】



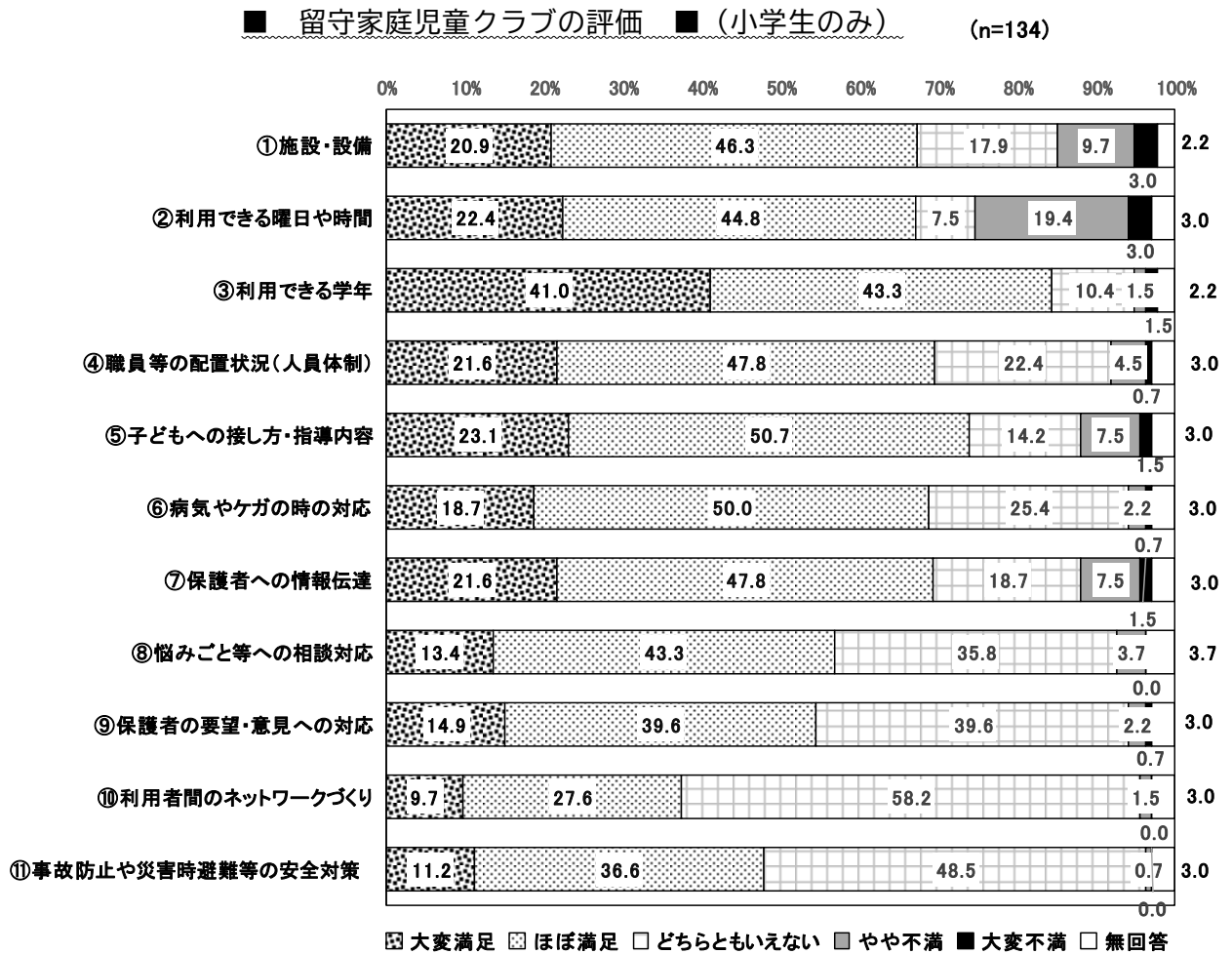
利用時間帯 平均	開始	8:15	終了	16:35
----------	----	------	----	-------

【夏休みや冬休みなどの長期の休業期間中】

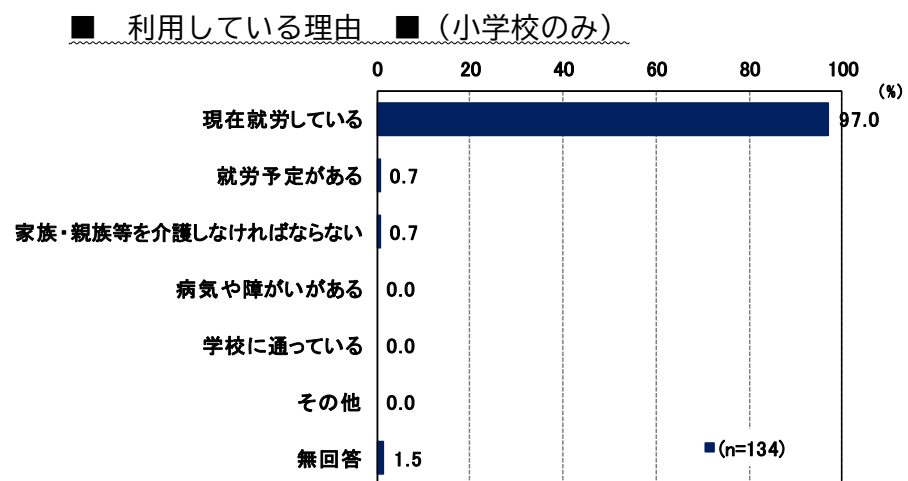


利用時間帯 平均	開始	8:11	終了	17:17
----------	----	------	----	-------

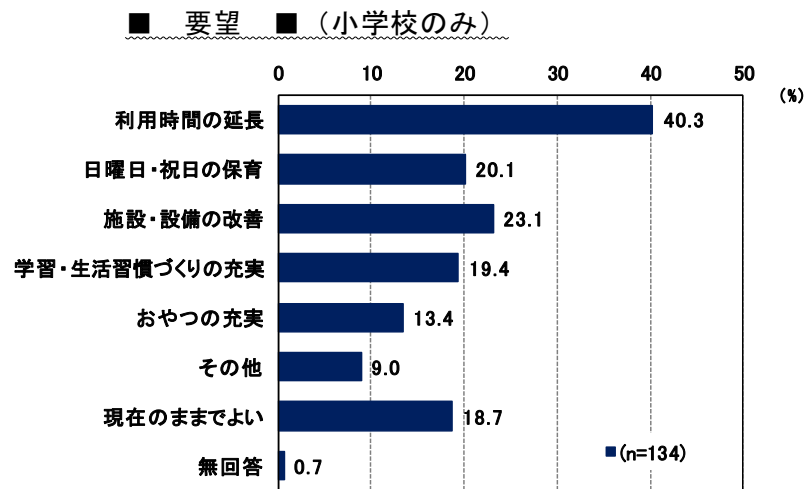
② 評価



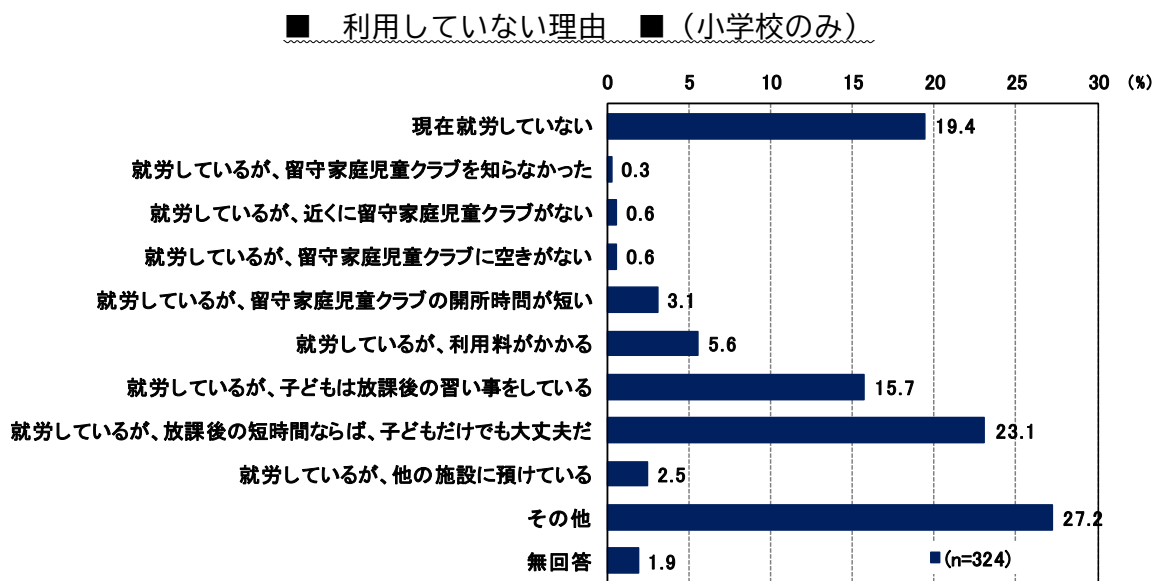
③利用している理由



④要 望



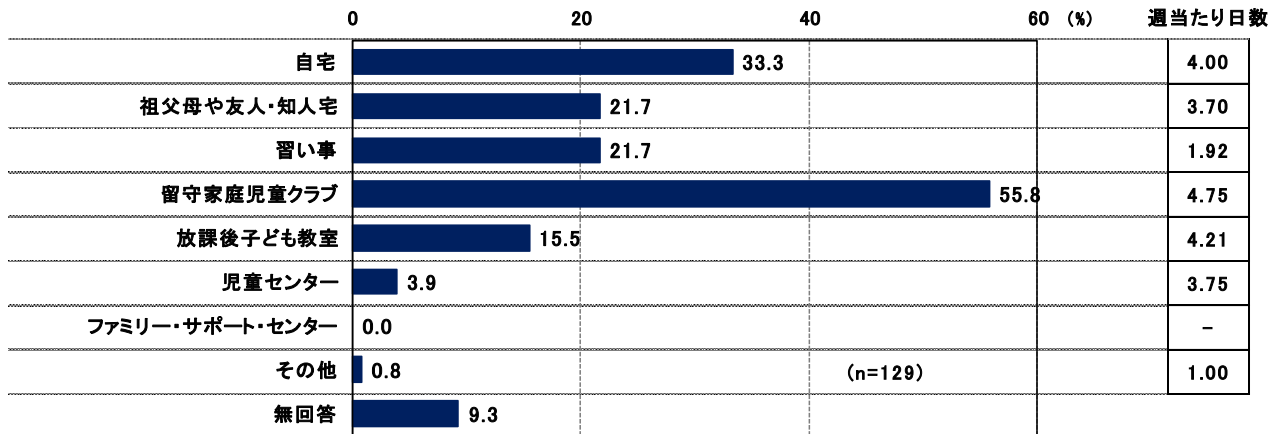
⑤利用していない理由



(8) 今後の放課後等の日常的な過ごし方

①小学生になった時（1～3年生）の放課後の過ごし方（就学前、5歳以上回答）

■ 小学校低学年（1～3年生）時の放課後の過ごし方 ■（就学前5歳以上回答）



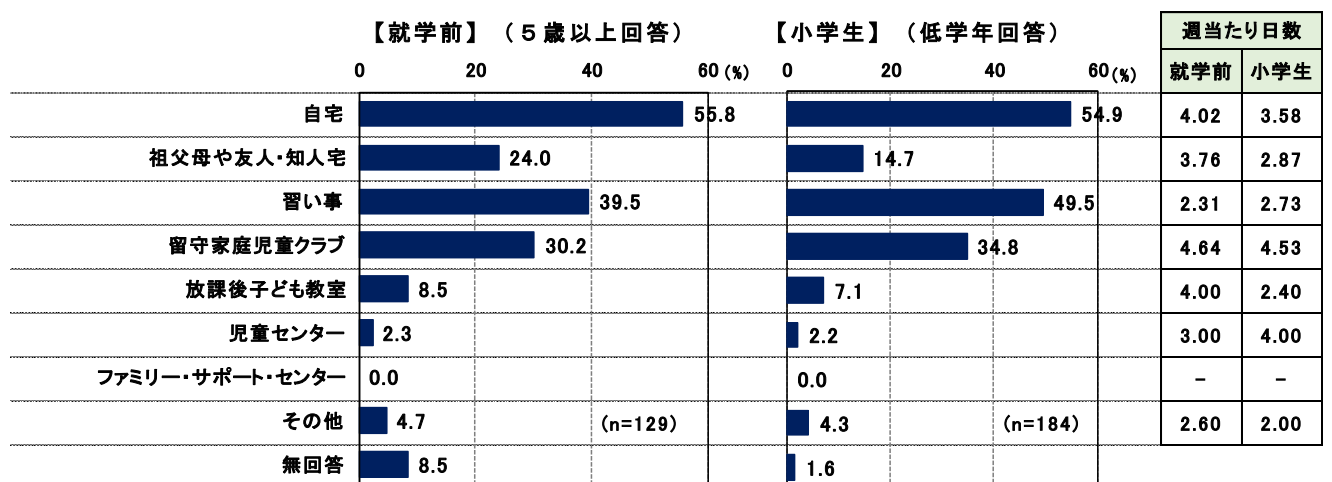
留守家庭児童クラブの終了時間

就学前	17:54
-----	-------

②小学校高学年（4～6年生）になった時の放課後の過ごし方

（就学前5歳以上、小学校低学年回答）

■ 小学校高学年（4～6年生）になった時の放課後の過ごし方 ■



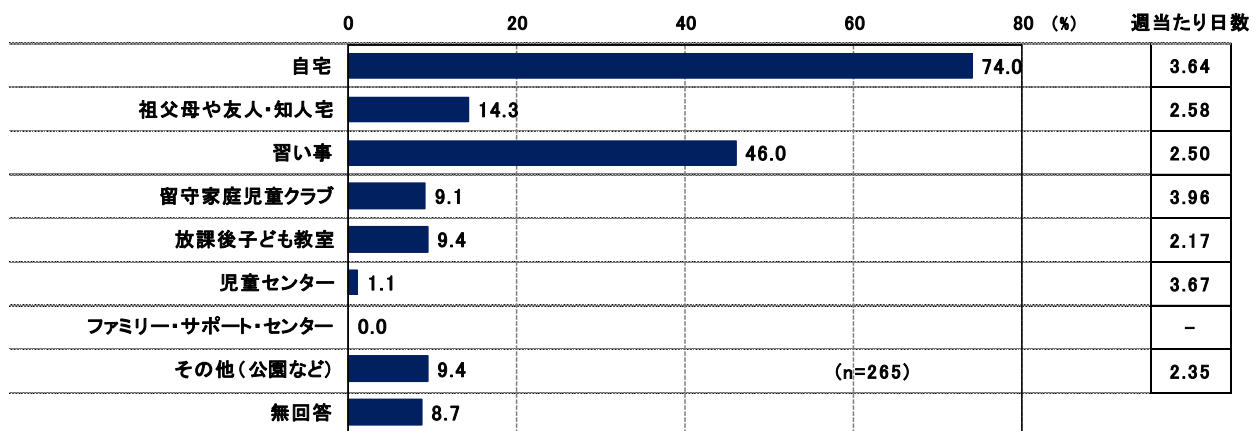
留守家庭児童クラブの終了時間

就学前	17:59
-----	-------

小学生	17:44
-----	-------

③小学校高学年（４～６年生）の放課後の過ごし方（小学校高学年回答）

■ 小学校高学年（４～６年生）の放課後の過ごし方 ■



留守家庭児童クラブの終了時間

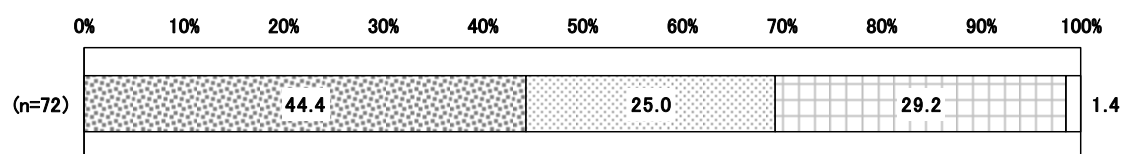
小学生	18:13
-----	-------

（９）土曜日、日曜日・祝日、長期の休業期間中の留守家庭児童クラブの利用意向

①就学前児童（５歳以上）が小学生になった時の利用意向

■ 利用意向 ■（就学前 ５歳以上回答）

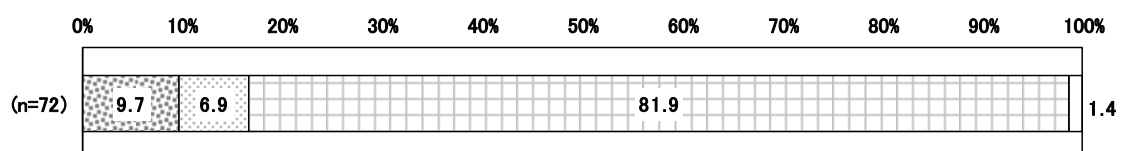
【土曜日】



☐ 低学年（１～３年生）の間は利用したい ☐ 高学年（４～６年生）になっても利用したい ☐ 利用する必要はない ☐ 無回答

希望する利用時間帯 平均	開始	8:5	終了	17:13
--------------	----	-----	----	-------

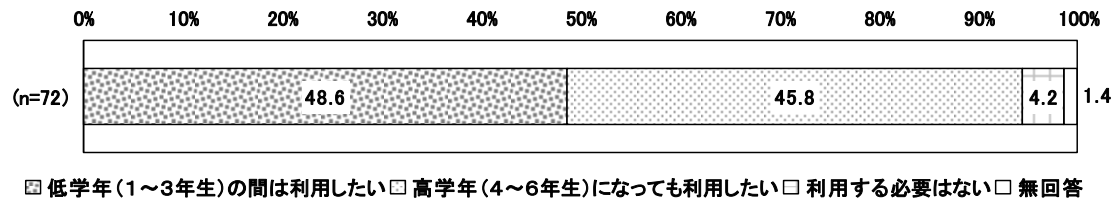
【日曜日・祝日】



☐ 低学年（１～３年生）の間は利用したい ☐ 高学年（４～６年生）になっても利用したい ☐ 利用する必要はない ☐ 無回答

希望する利用時間帯 平均	開始	8:5	終了	18:0
--------------	----	-----	----	------

【夏休みや冬休みなどの長期の休業期間中】

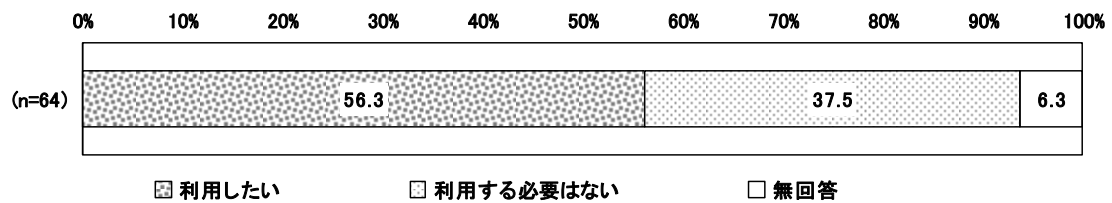


希望する利用時間帯 平均	開始	8:4	終了	17:41
--------------	----	-----	----	-------

②小学校低学年が高学年になった時の利用意向

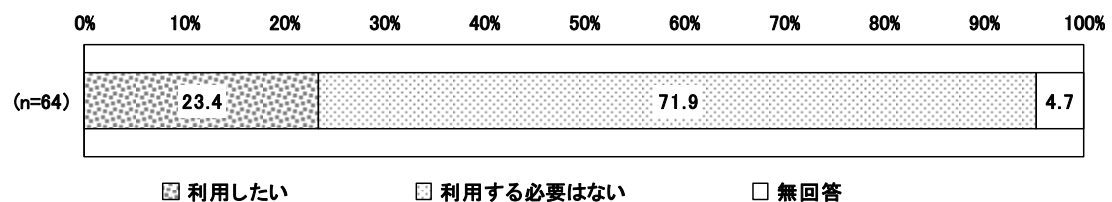
■ 利用意向 ■ (小学校1～3年生回答)

【土曜日】



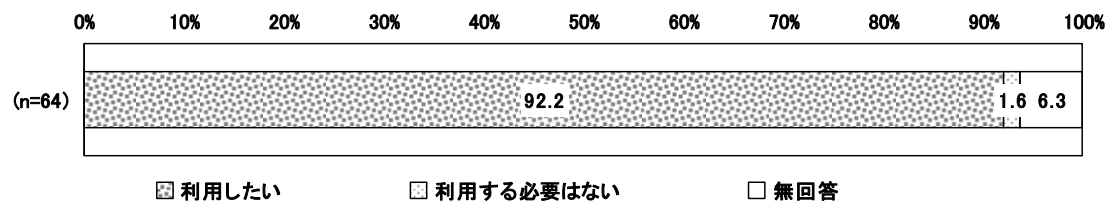
利用時間帯 平均	開始	8:10	終了	17:8
----------	----	------	----	------

【日曜日・祝日】



利用時間帯 平均	開始	8:6	終了	17:26
----------	----	-----	----	-------

【夏休みや冬休みなどの長期の休業期間中】

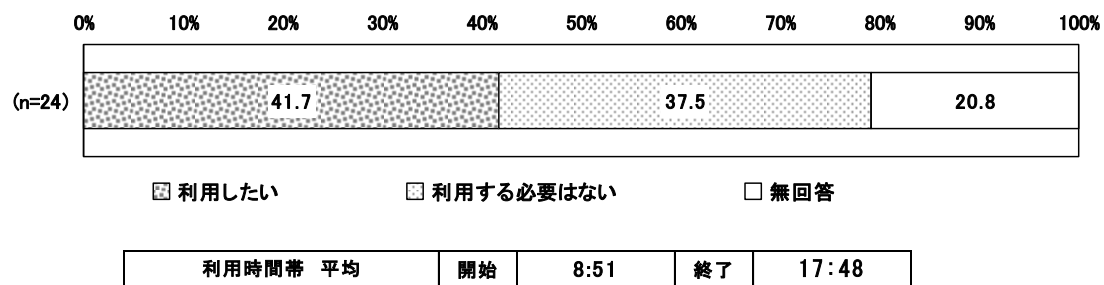


利用時間帯 平均	開始	8:8	終了	17:41
----------	----	-----	----	-------

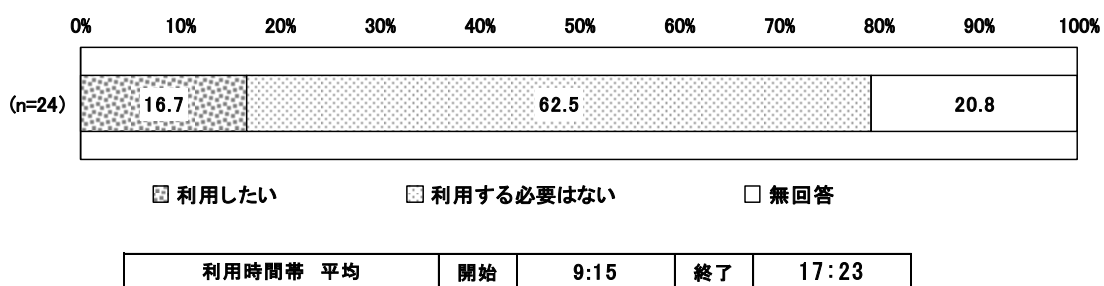
③小学校高学年（４～６年生）の利用意向

■ 利用意向 ■ (小学校４～６年生回答)

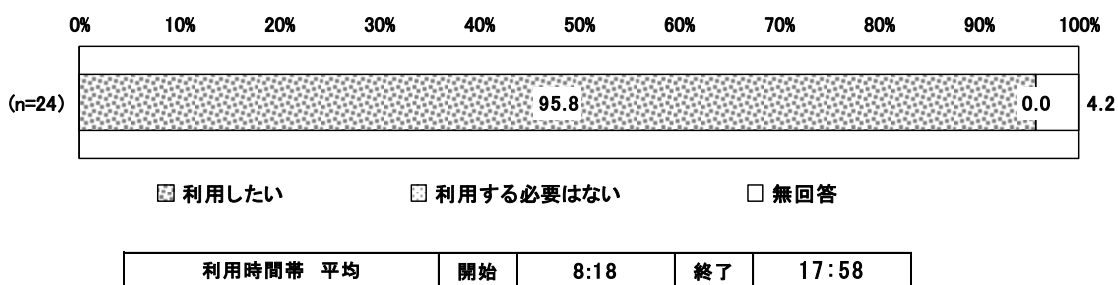
【土曜日】



【日曜日・祝日】

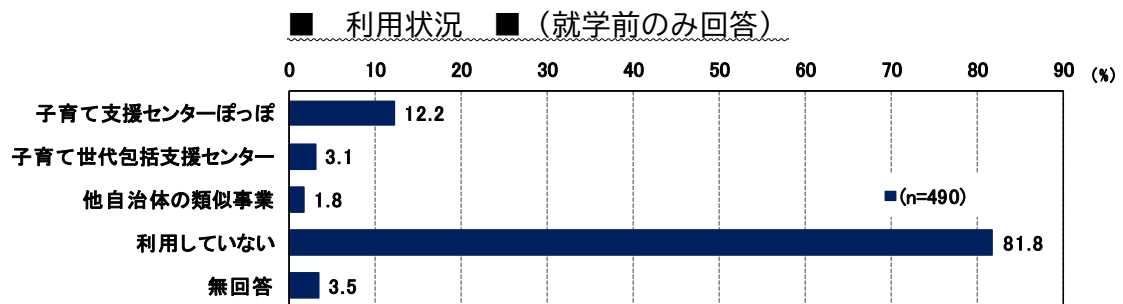


【夏休みや冬休みなどの長期の休業期間中】



(10) 地域子育て支援事業の利用状況について

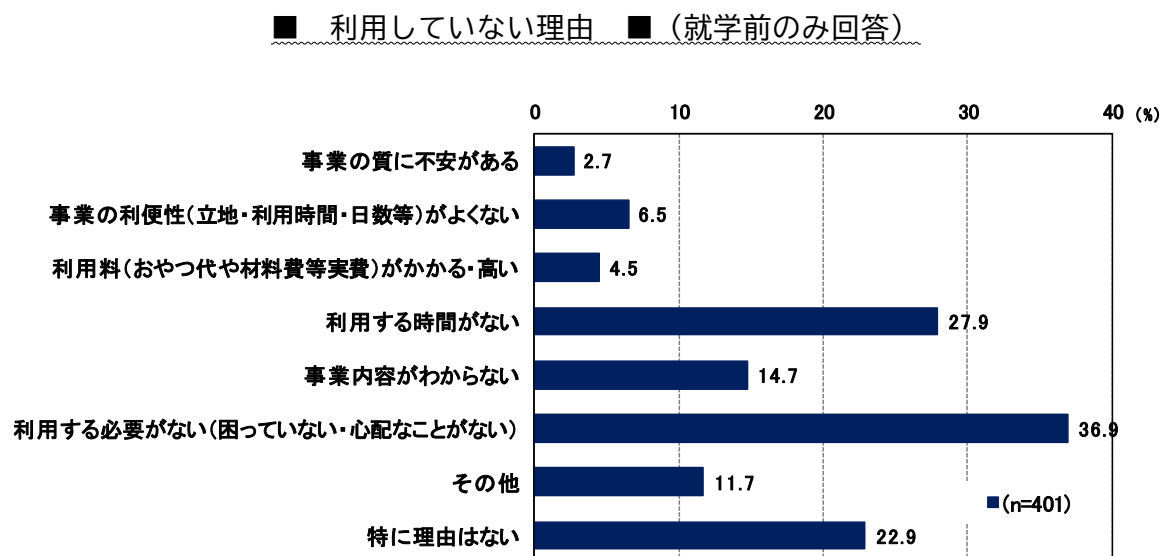
①利用状況



■ 1ヶ月当たりの利用回数

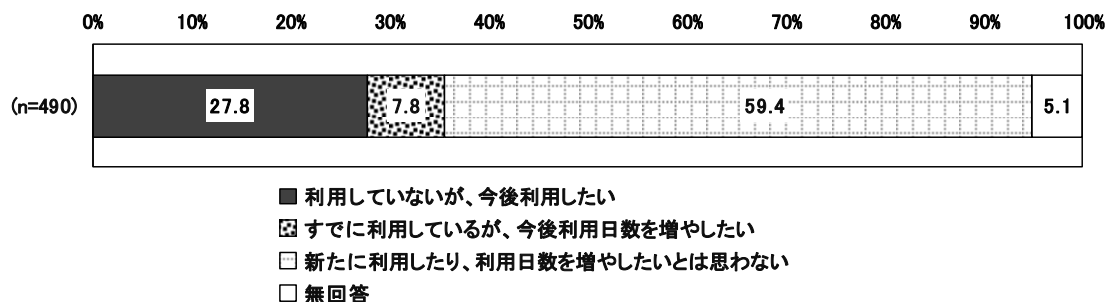
子育て支援センターぽっぽ	3.14	回/月
子育て世代包括支援センター	1.07	回/月
他自治体の類似事業	4.22	回/月

②利用していない理由



③今後の利用意向

■ 今後の利用意向 ■ (就学前のみ回答)



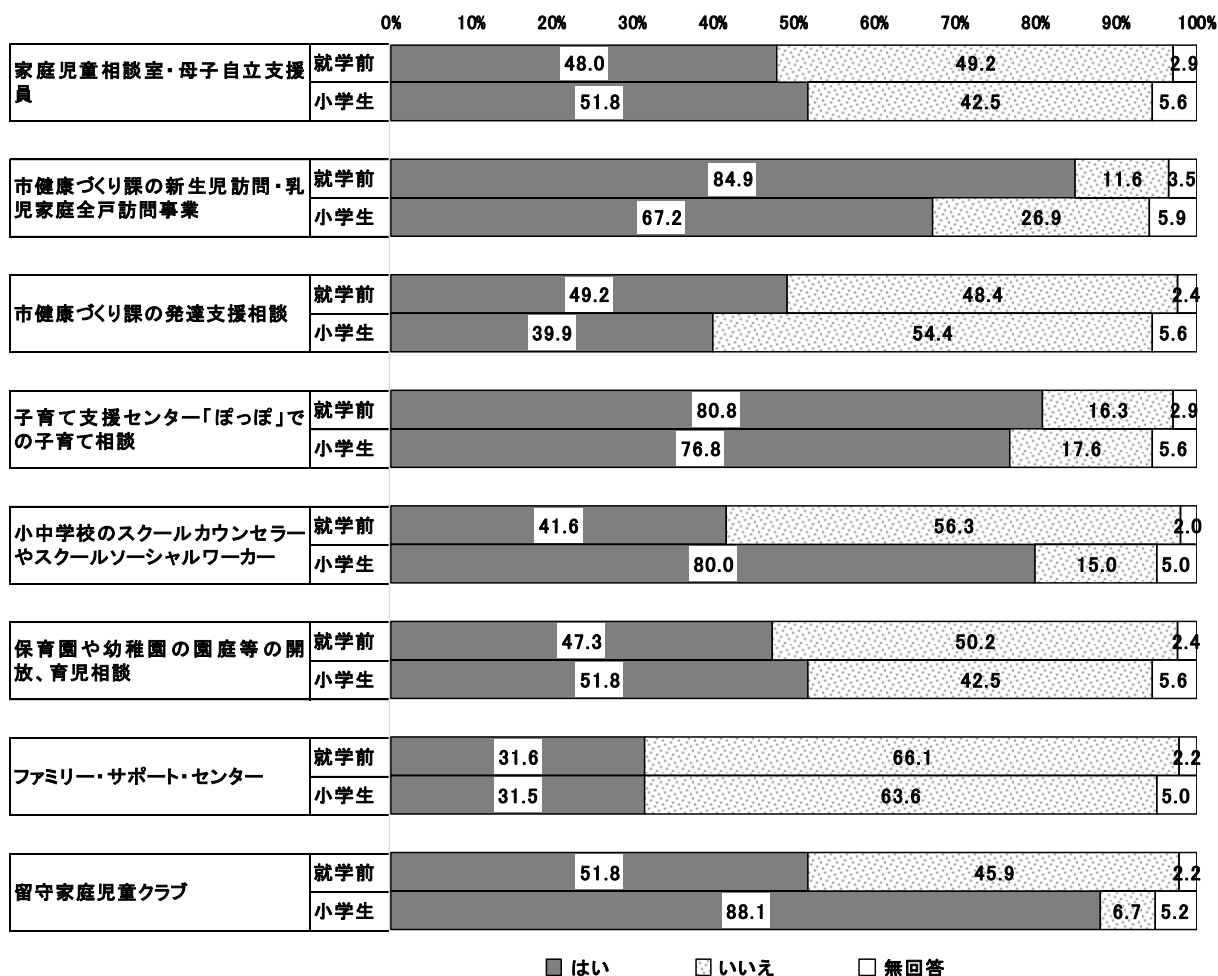
■ 1ヶ月当たりの利用回数

利用していないが、今後利用したい	2.32	回/月
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	5.50	回/月

(11) 各種子育て支援事業等の利用状況について

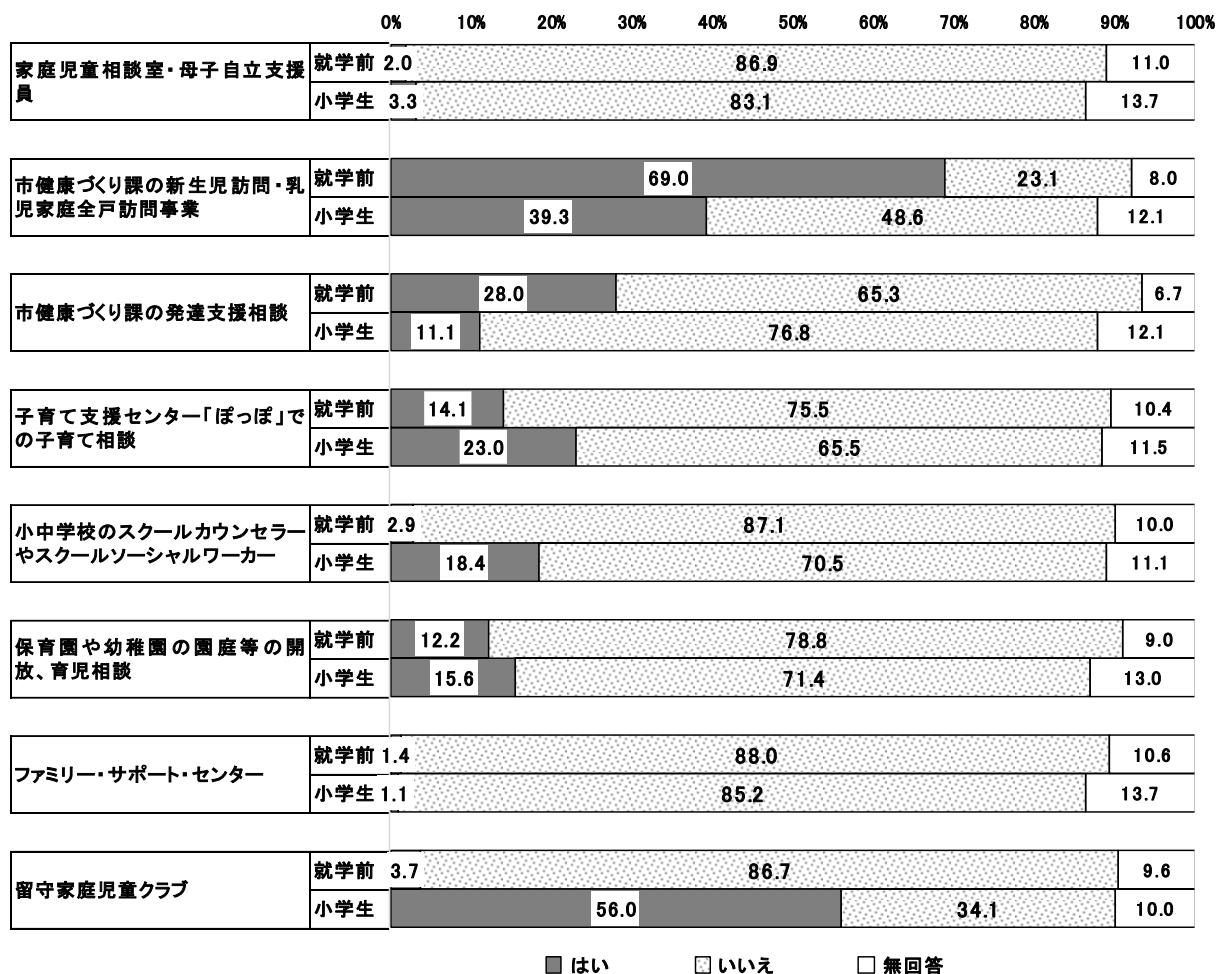
①認知状況

■ 認知状況 ■ (就学前 n=490 小学生 n=461)



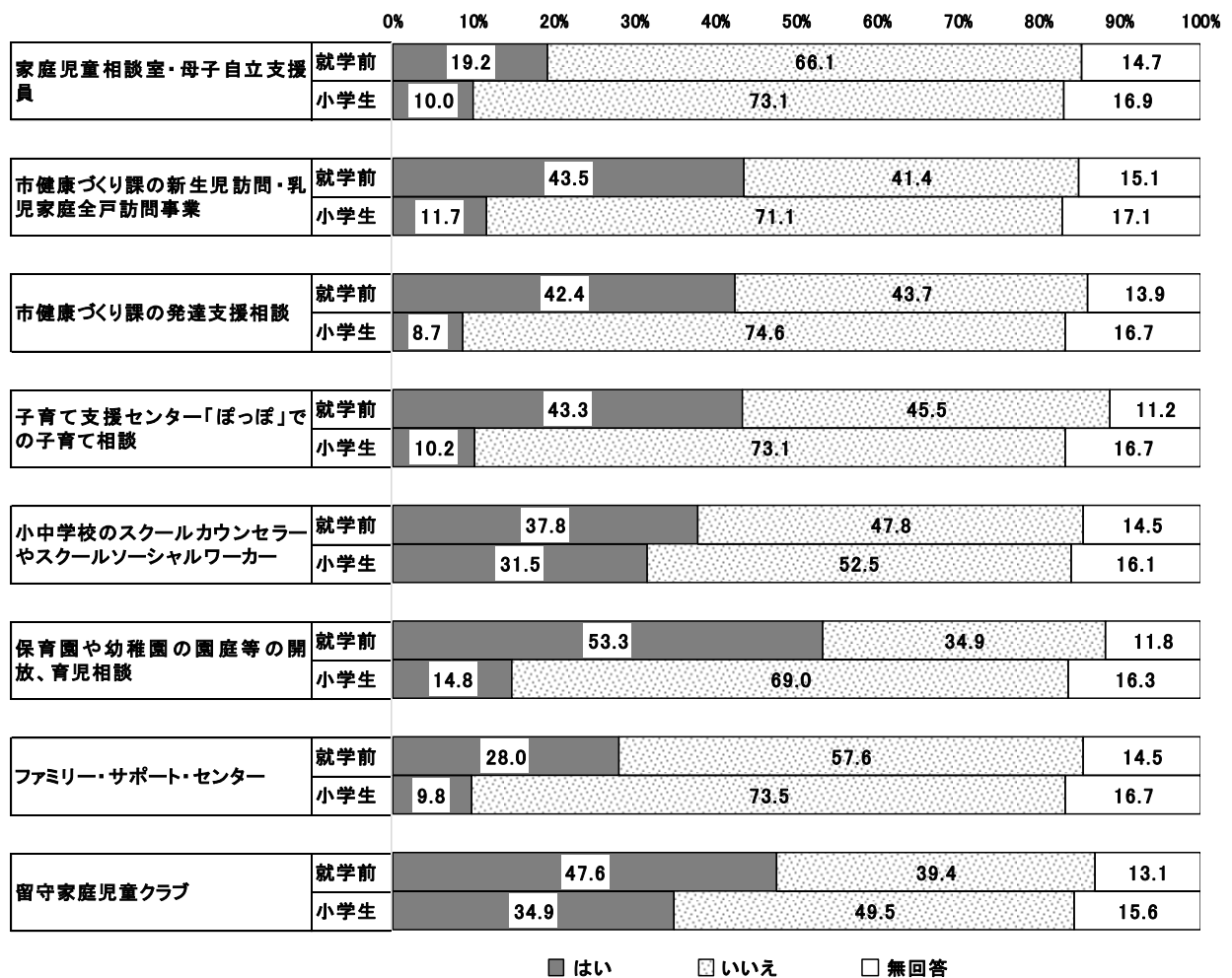
②利用経験

■ 利用経験 ■ (就学前 n=490 小学生 n=461)



③今後の利用意向

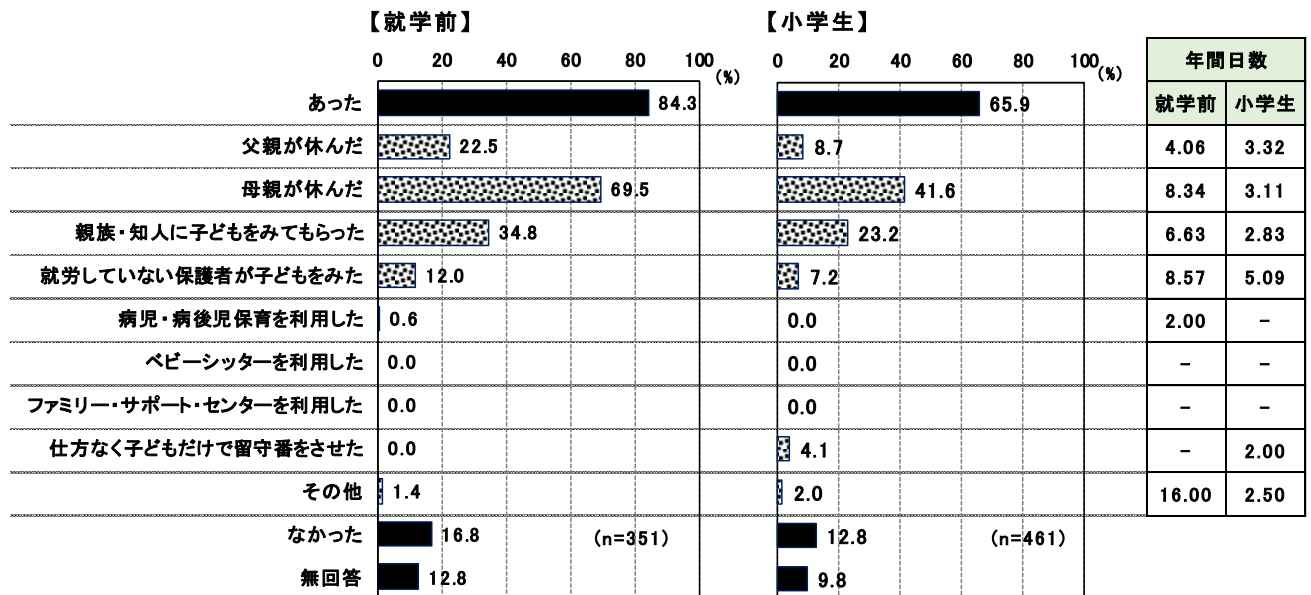
■ 今後の利用意向 ■ (就学前 n=490 小学生 n=461)



(12) 子どもの病気やけがの際の対応について（平日の教育・保育利用者のみ）

① 過去 1 年間に子どもが病気やけがで通常の保育サービスが利用できなかった経験

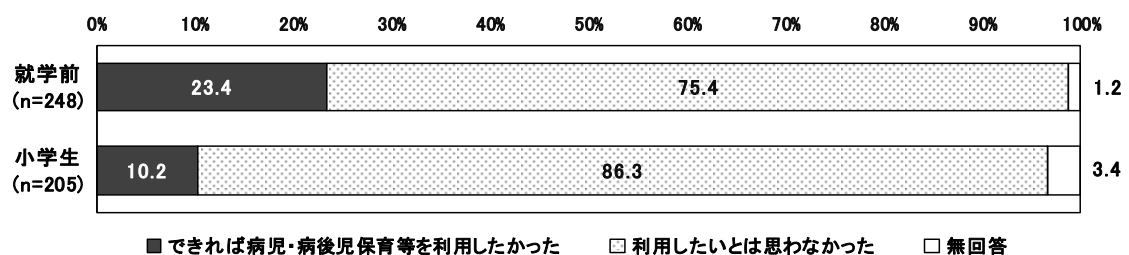
■ 経験の有無とその時の対処方法 ■



(13) 病児・病後児保育

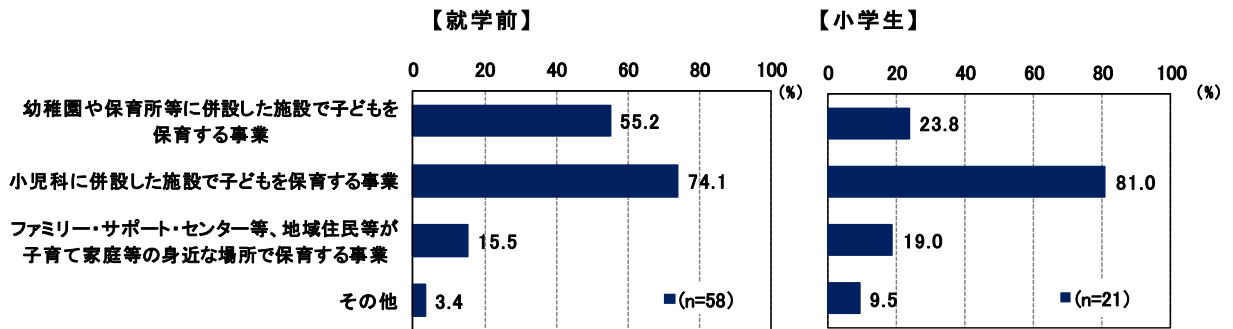
① 利用意向と事業形態

■ 利用意向 ■



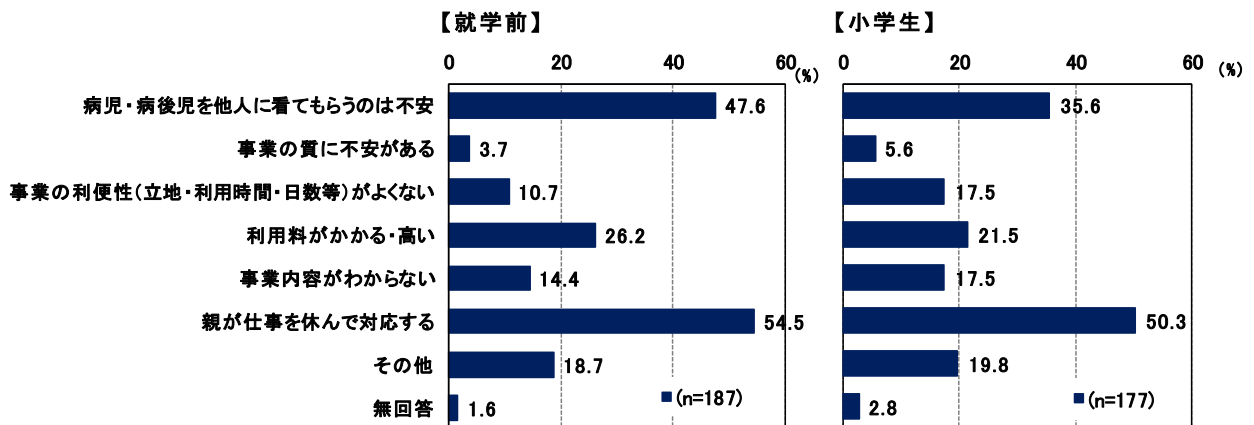
できれば病児・病後児保育等を利用したかった		
就学前	4.95	日/年
小学生	3.20	日/年

■ 望ましい事業形態 ■



② 利用したくない理由

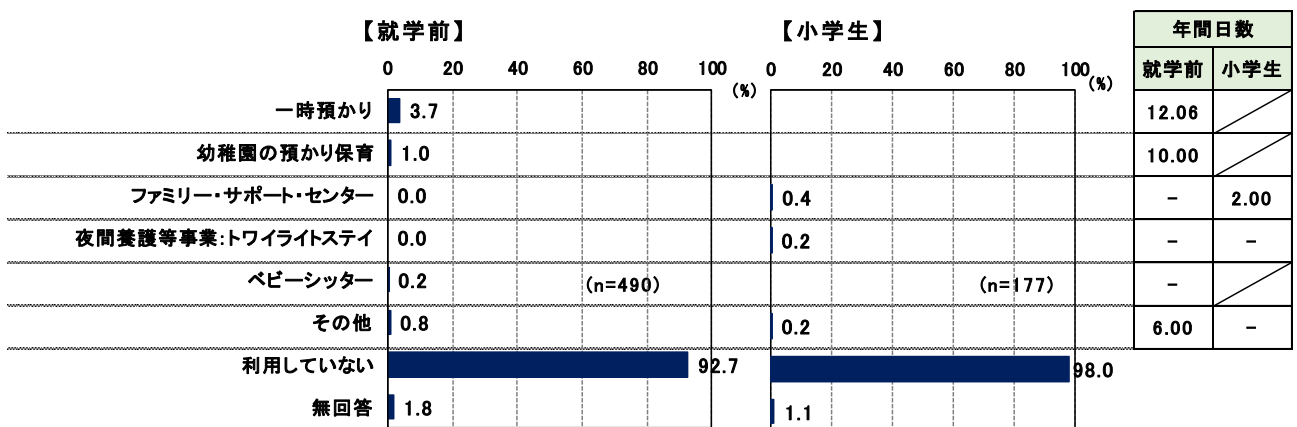
■ 利用したくない理由 ■



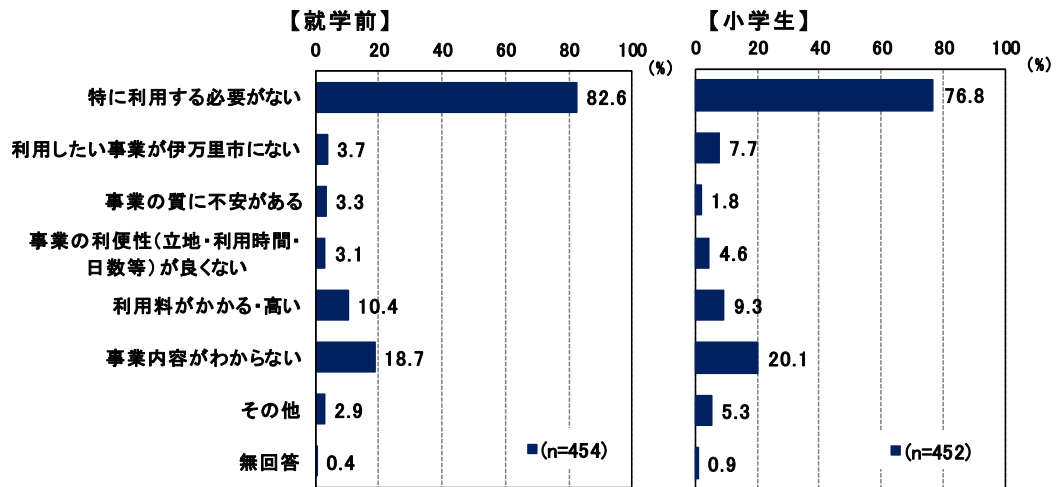
(14) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

①過去1年間に家族以外に一時的に預けたこと

■ 不定期の利用状況 ■

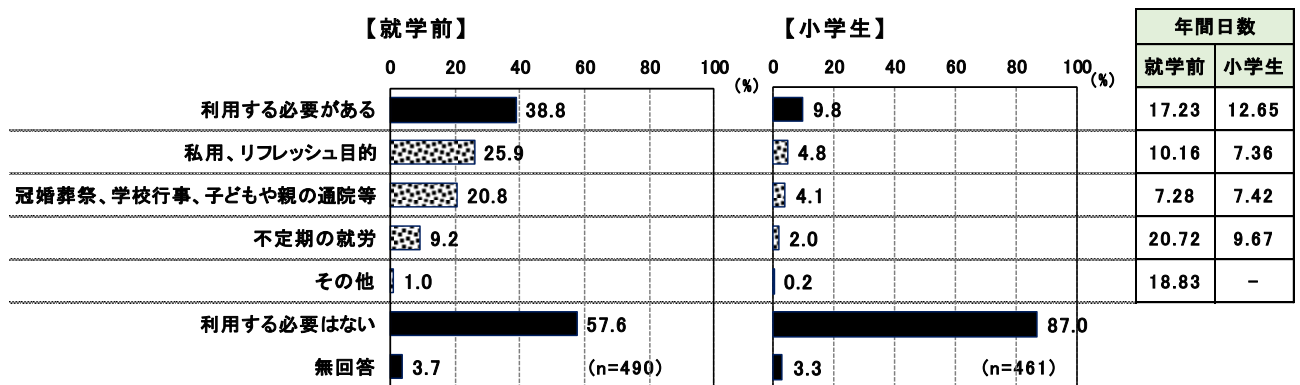


■ 利用していない理由 ■

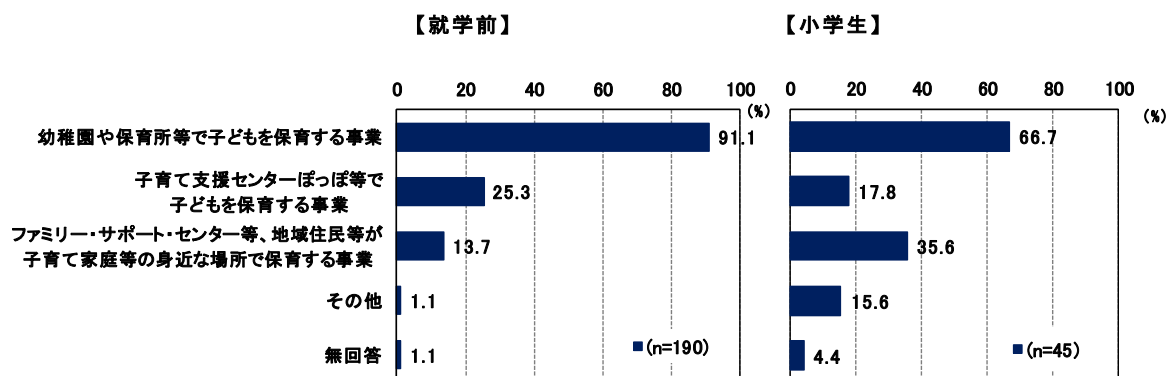


②一時預かり等を利用したい目的

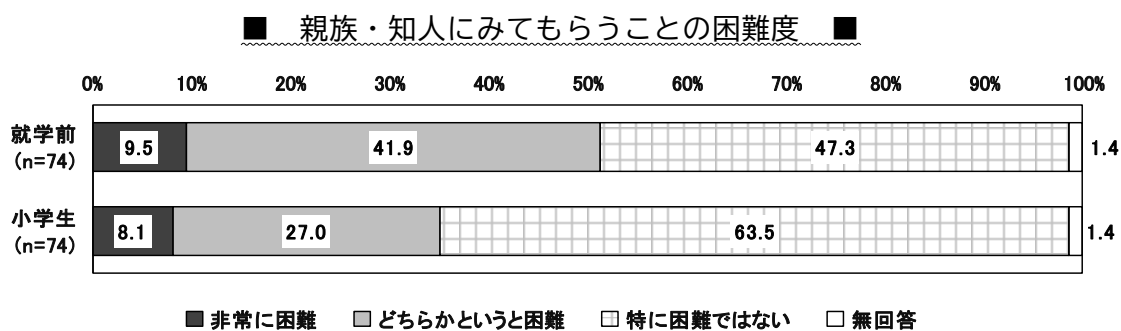
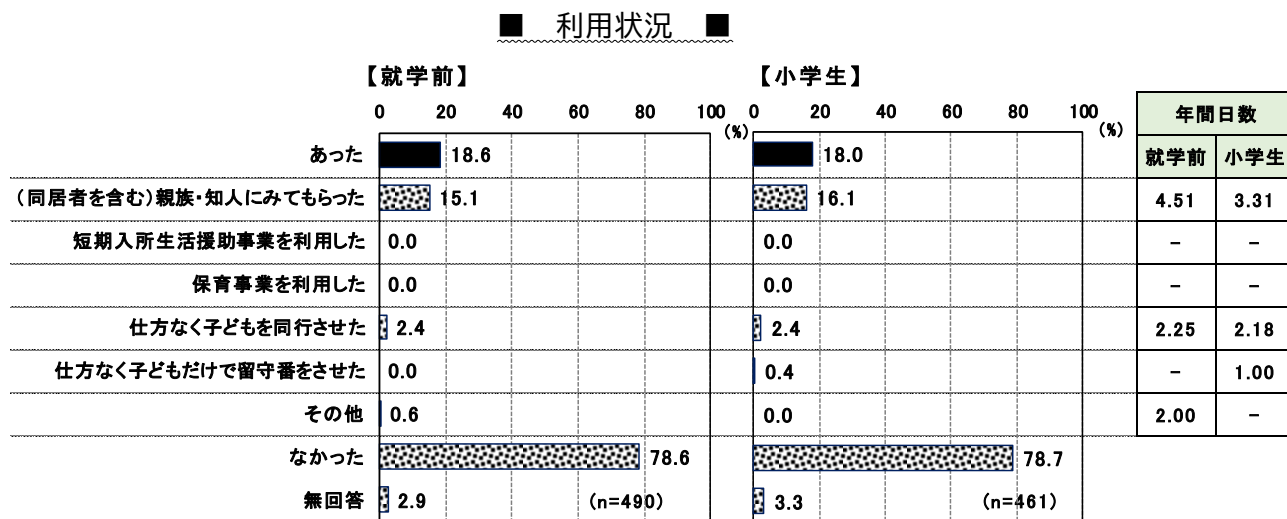
■ 利用の必要生と利用したい目的 ■



■ 望ましい事業形態 ■

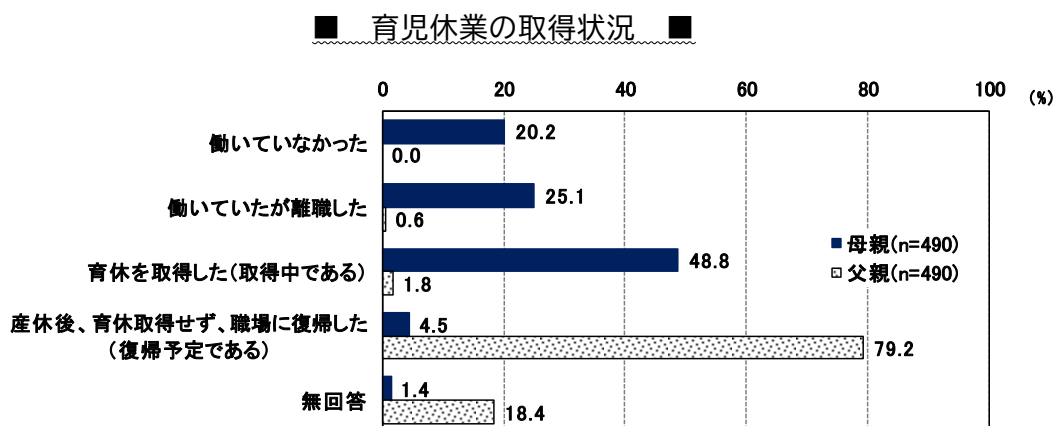


③宿泊を伴う一時預かり

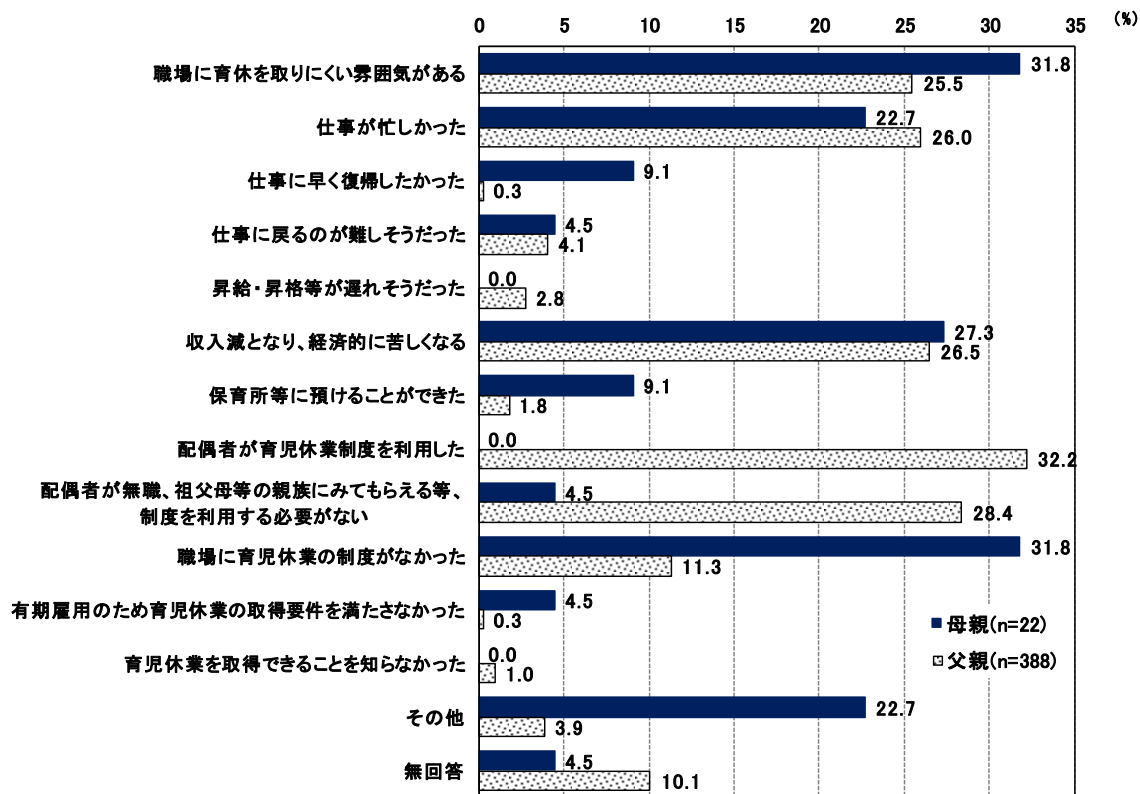


(15) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

①育児休業の取得状況

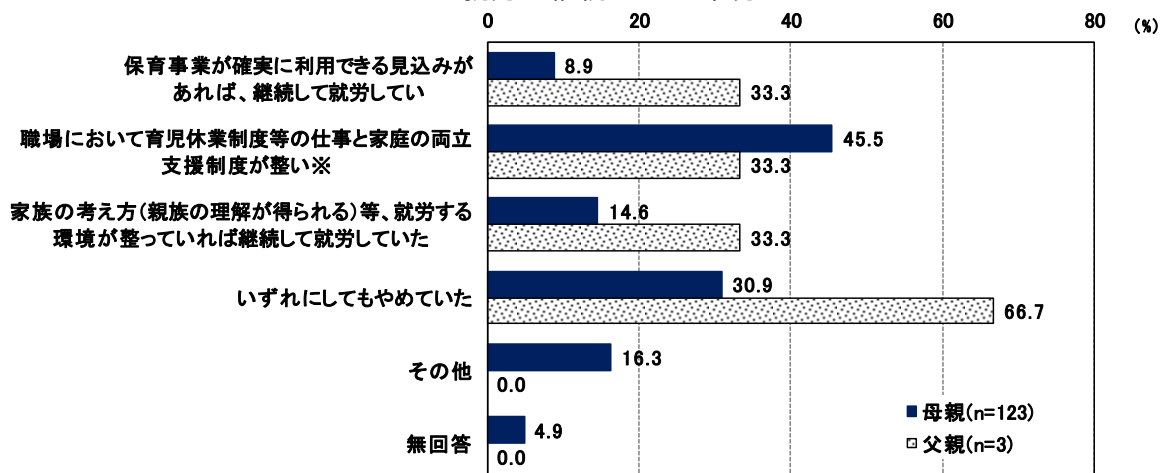


■ 育児休業を取得していない理由 ■



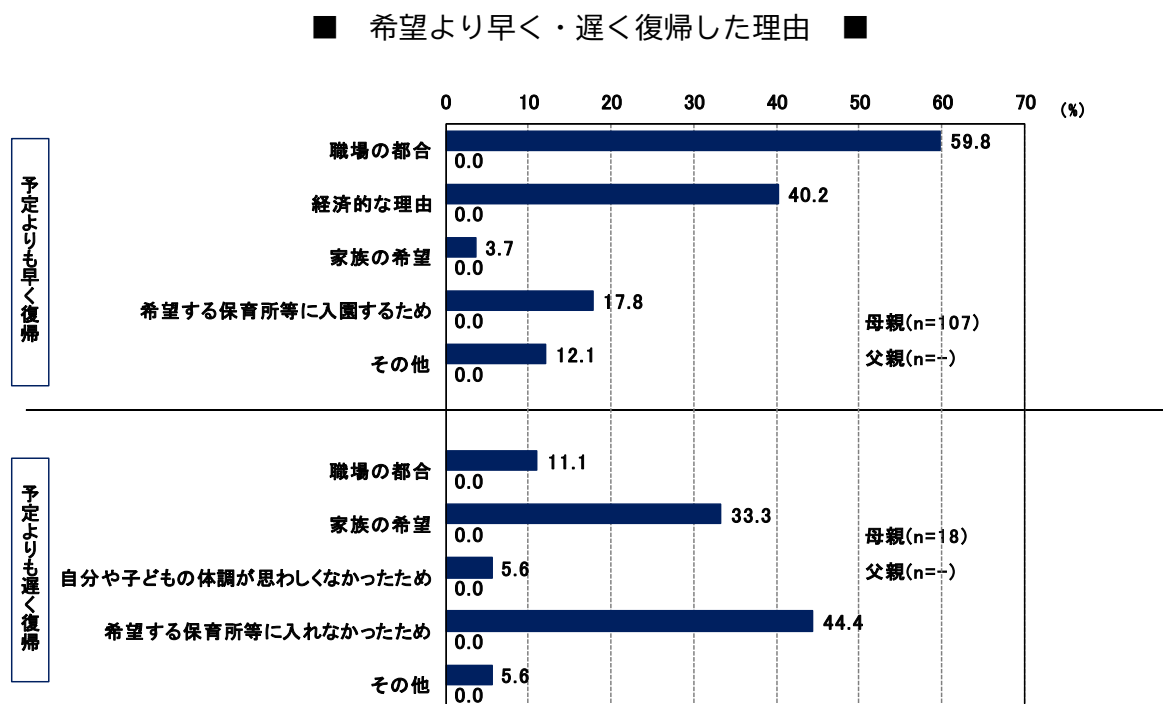
②就労を継続できる環境

■ 就労を継続できる環境 ■

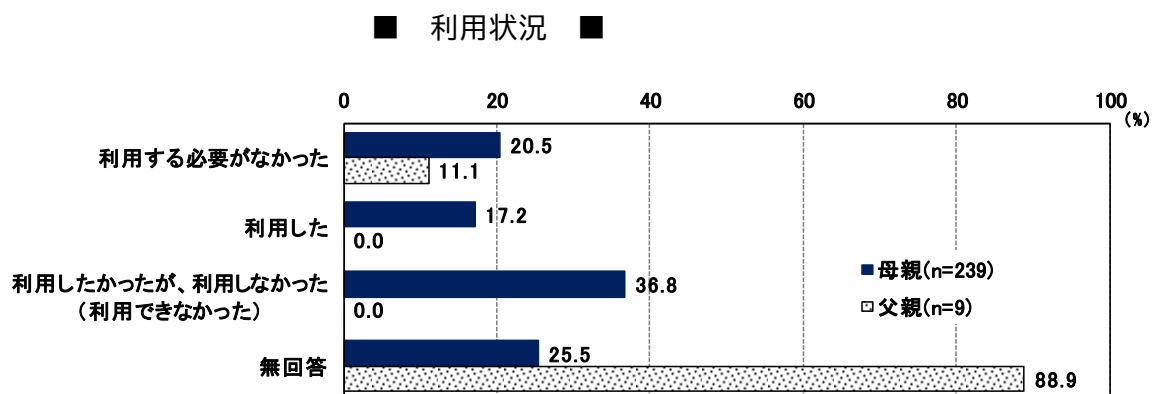


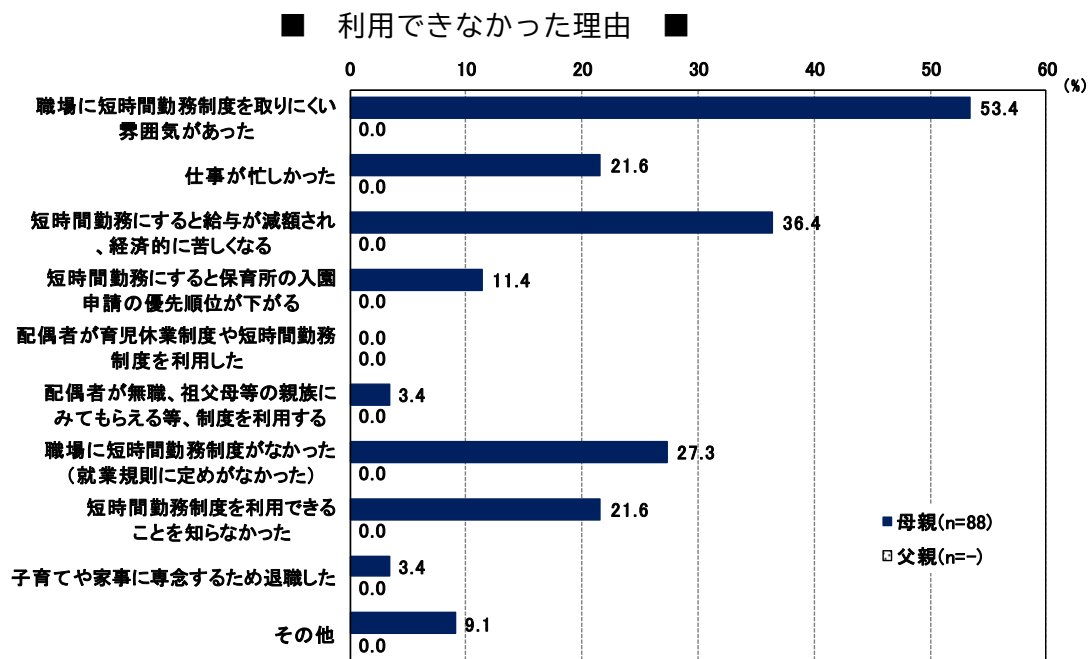
※職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、また、職場の中の理解や協力体制等、働き続けやすい環境が整っていれば継続して就労していた

③育児休業取得後の職場復帰

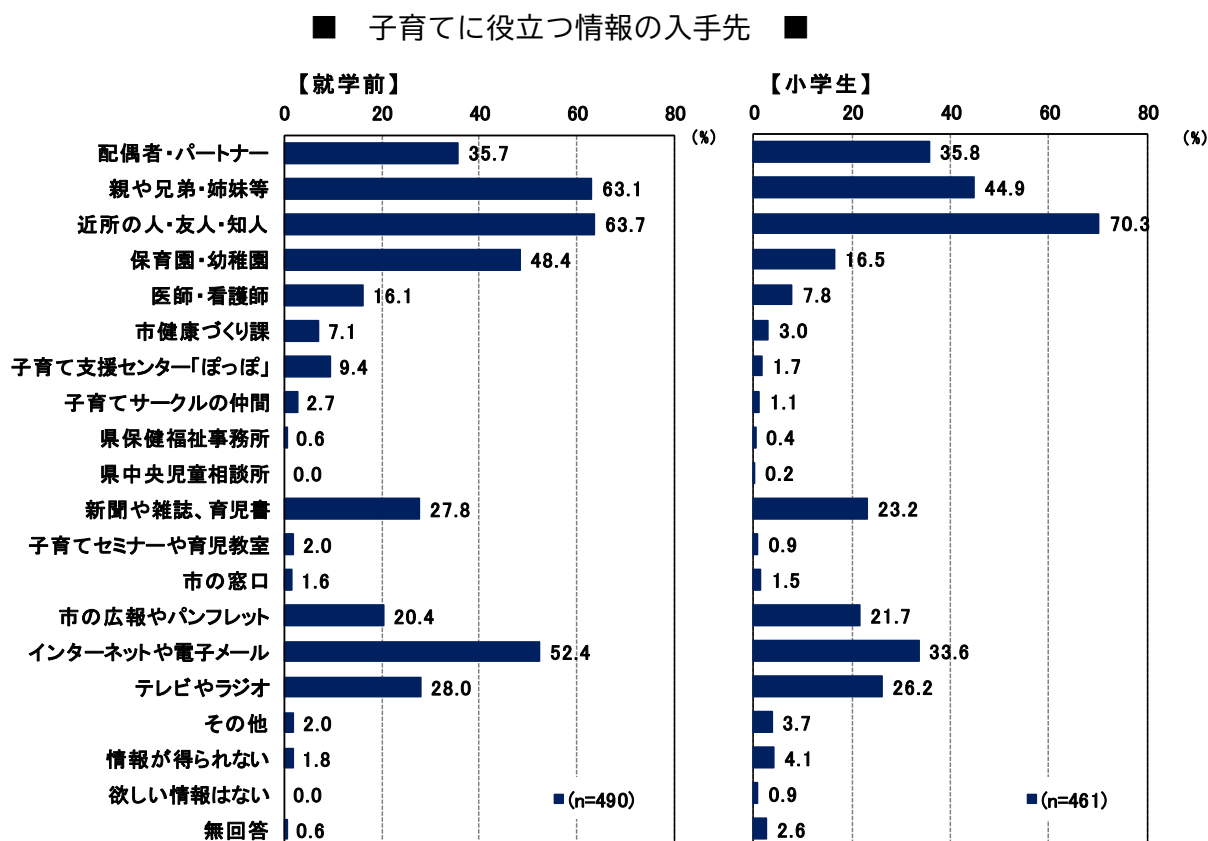


④短時間勤務制度の利用



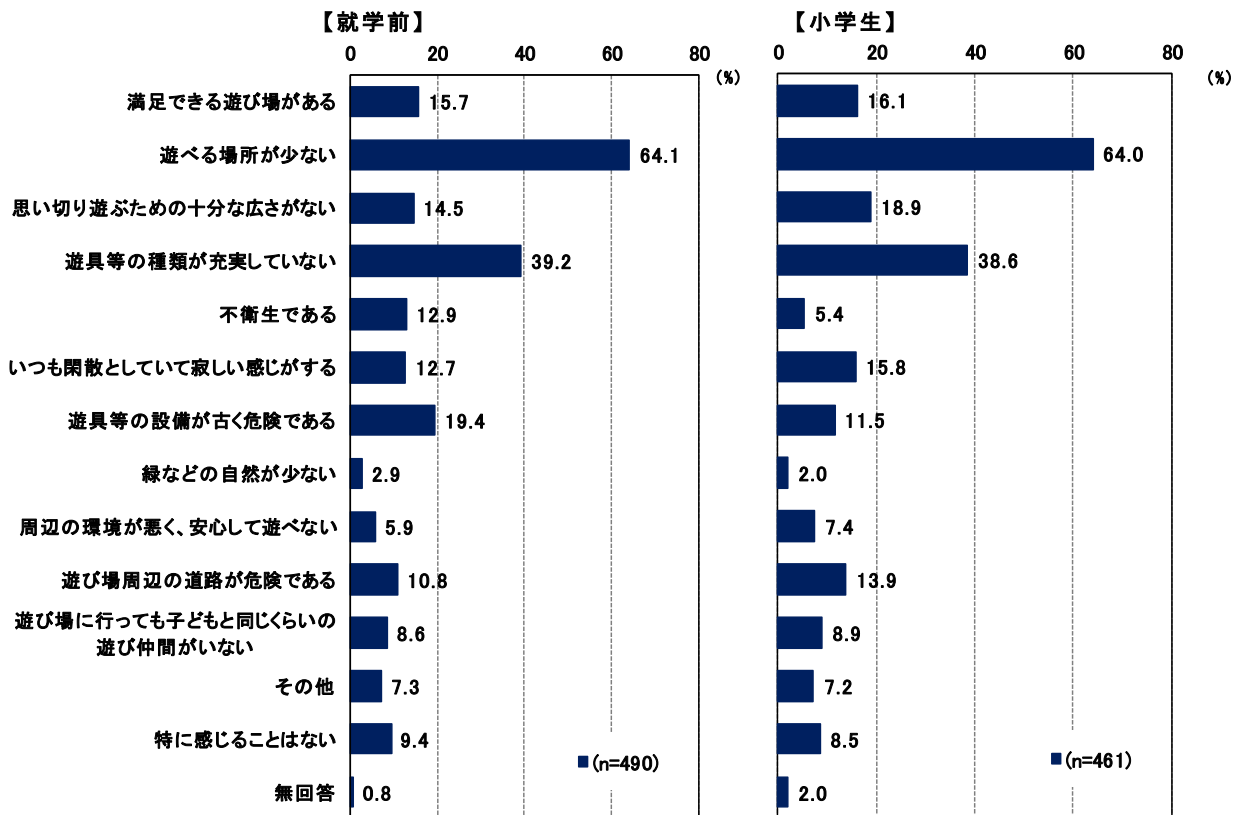


(16) 子育てに役立つ情報の入手先



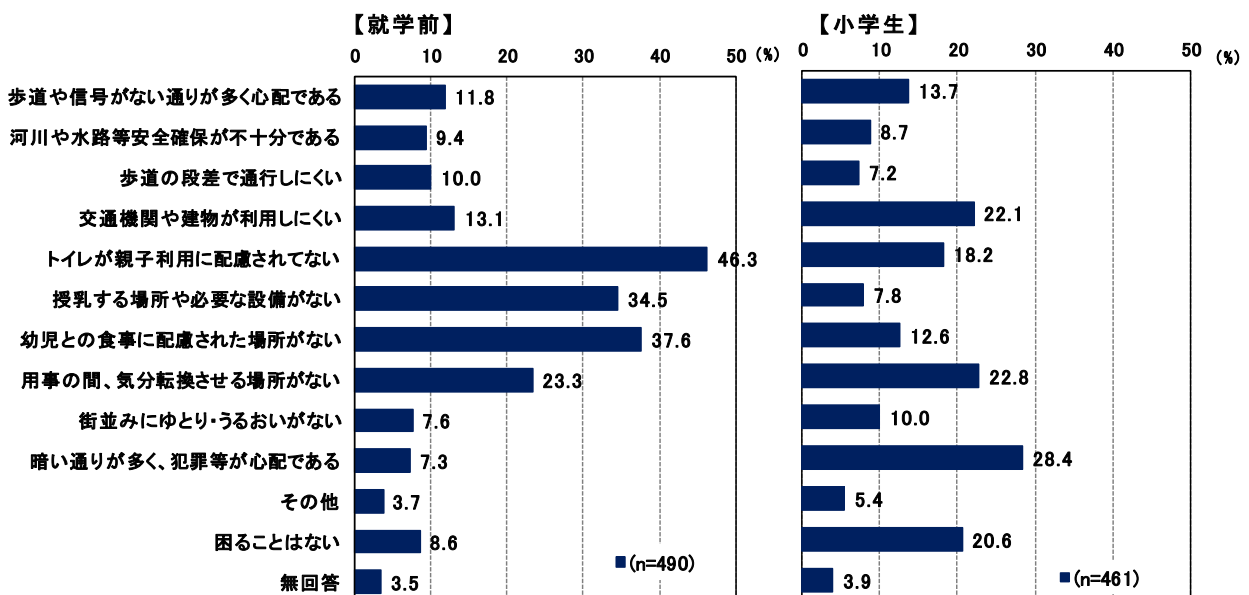
(17) 市内の子どもの遊び場について、日頃感じていること

■ 市内の子どもの遊び場について、日頃感じていること ■

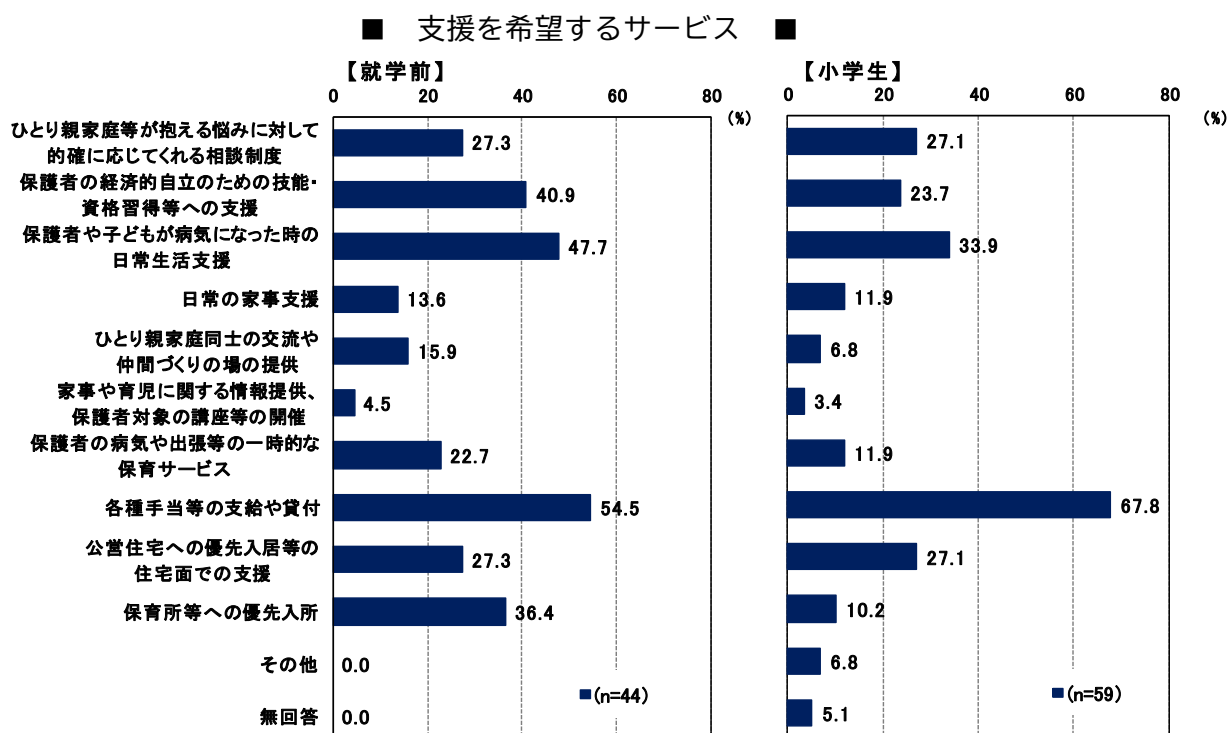
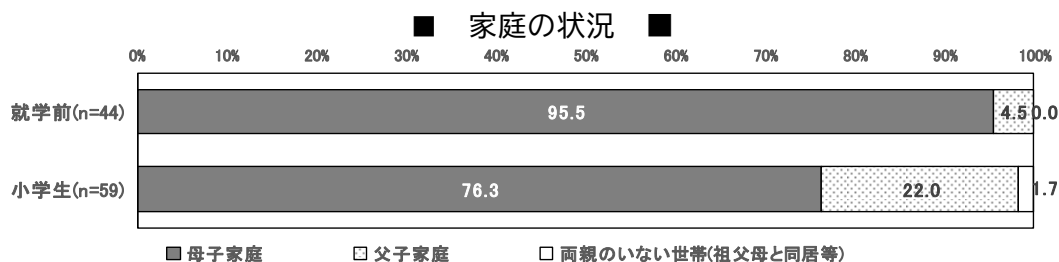


(18) 子どもと外出するときに、困ること・困ったこと

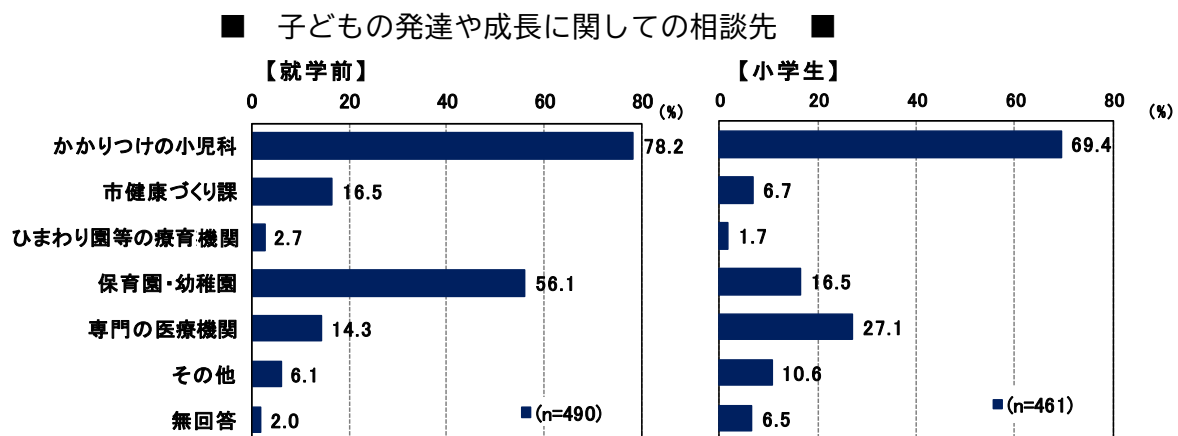
■ 子どもと外出するときに、困ること・困ったこと ■



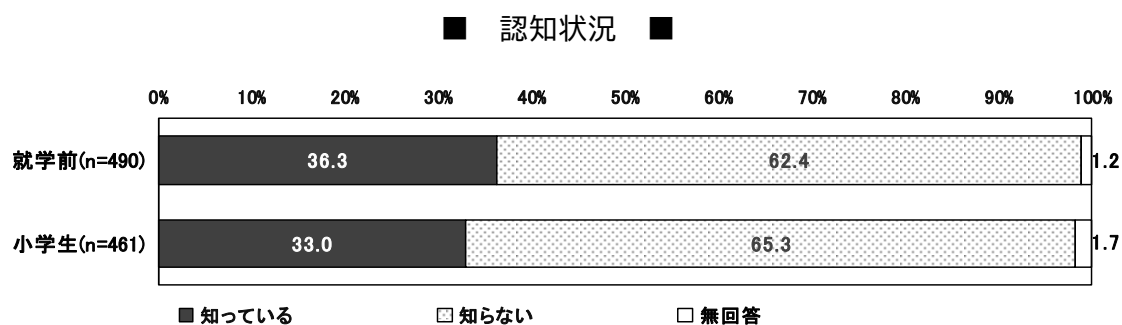
(19) 母子・父子家庭の状況



(20) 子どもの発達や成長に関しての相談先

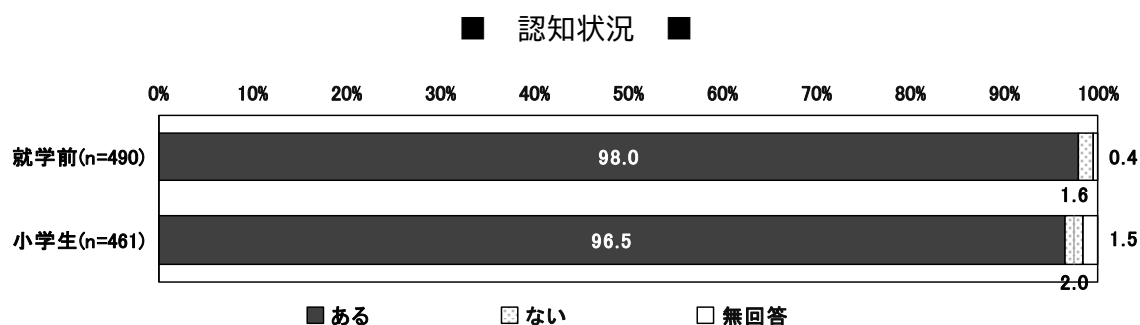


(21)「就学支援相談会」「5歳児わんぱく相談」「のびっこ相談」「すくすく相談」等の認知状況

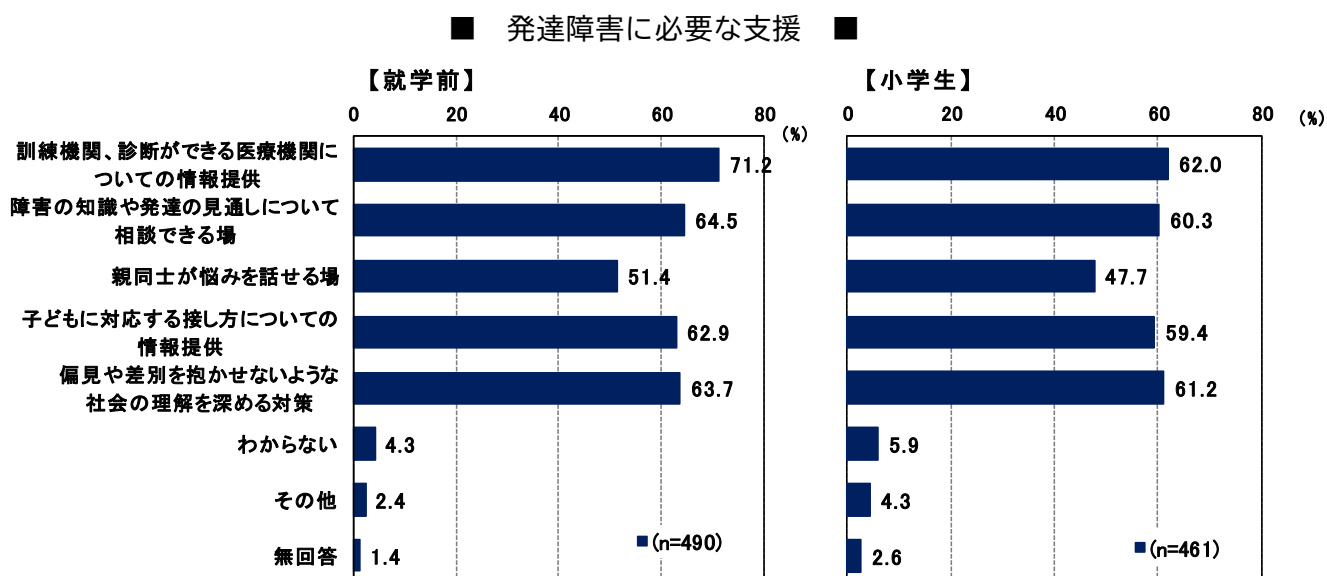


(22) 発達障害について

①認知状況

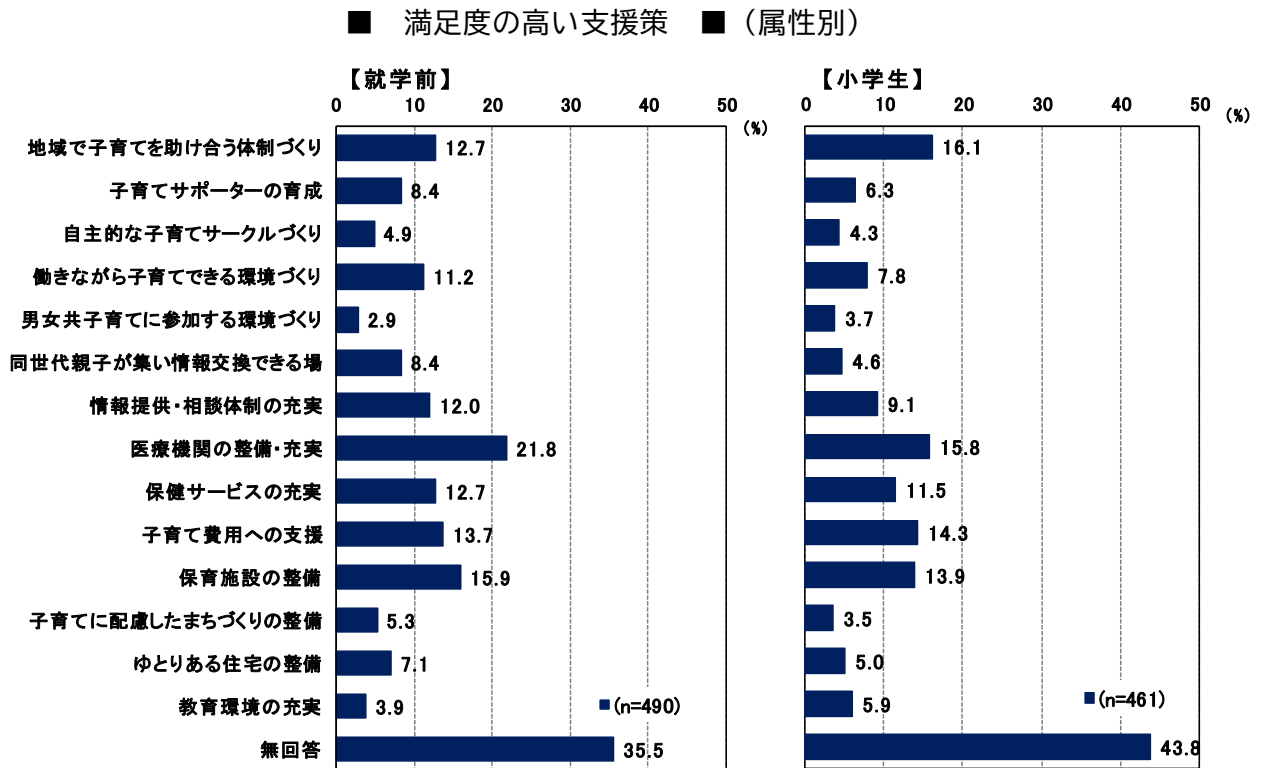


②必要な支援

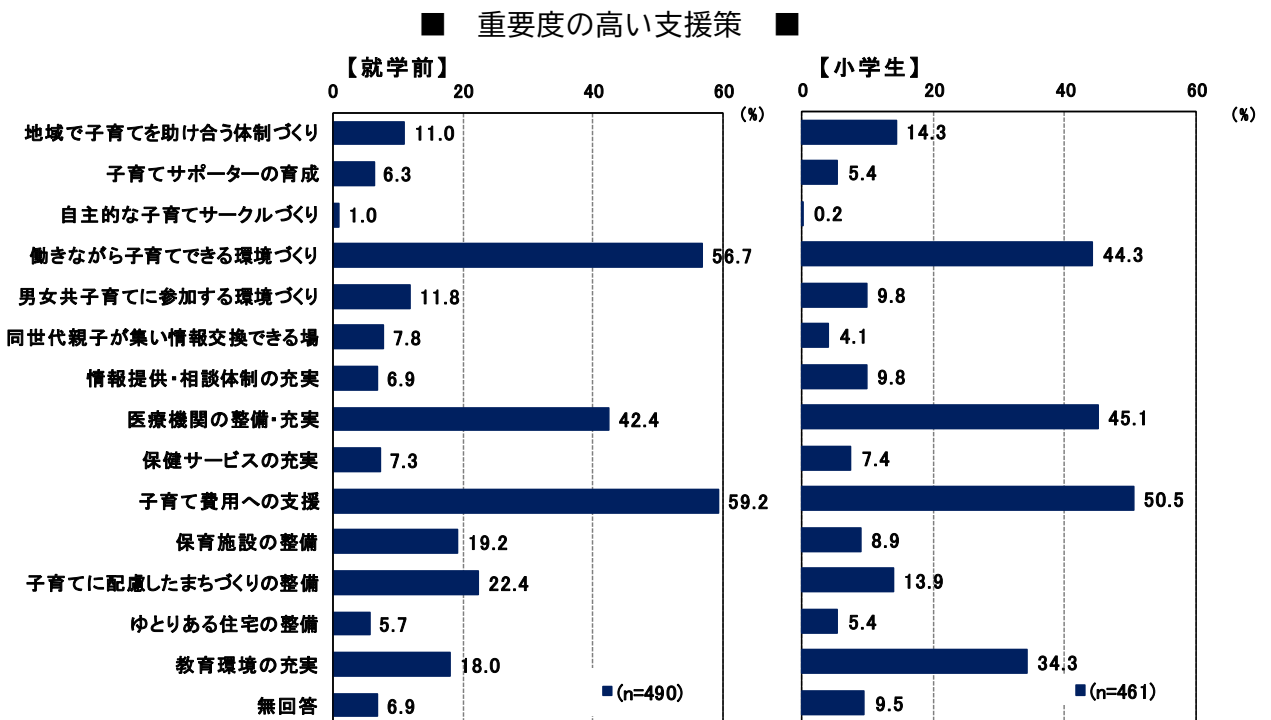


(23) 伊万里市の支援策について

①満足度の高い支援策



②重要度の高い支援策



2 実施事業一覧

(1) 親と子どもの健康の確保と増進

■妊産婦等保健事業■

事業名	事業概要	2017年度 実施内容
妊婦健康診査	医療機関に委託。妊婦の疾病異常を早期発見し、早期に治療することを目的とし、乳児死亡、周産期死亡の低減及び障害児の出生を未然に防ぐ。	受診者数 5,293 人 (内訳) 異常なし 3,591 人、要医療 647 人、 要精密 65 人、要観察 845 人、要指導 145 人
妊婦訪問指導	妊娠中に保健師等が家庭訪問を行い、安心して出産育児に臨むことができるよう適切な指導助言をする。	実人数 11 人 延べ人数 36 人
新生児訪問指導	新生児期に児童の健康状態を確認し、具体的な育児の方法等を助言することにより、不安を軽減し、育児の自信と喜びにつなげていく。	実人数 17 人 延べ人数 30 人
妊娠届出時相談	妊婦を的確に把握するとともに、妊婦の状況に応じた保健指導を行う。また、母子保健制度について情報提供を行う。	要支援妊婦人数 118 人
産婦保健指導	心身に不安を抱える産後4か月未満の産婦を対象に、市内の産婦人科に委託し、助産師・看護師等の専門家の相談事業を行い、産婦の孤立感の解消を図る。	利用者 30 人
産後ケア	市内の産婦人科に委託し、年間3日を上限とし、ショートステイ(宿泊型)とデイサービス(日帰り型)を提供する。授乳や沐浴のアドバイス、育児相談、産婦の健康管理などを行う。	デイサービス 2 人

■乳幼児健康診査事業■

事業名	事業概要	2017年度 実施内容
乳児一般健康診査	医療機関委託。乳児について異常の早期発見早期治療を目的とし、乳児の健康管理の向上を図る。	受診率:82.5% (対象者 439 人、受診者 362 人)
3か月児健康診査	集団健診。乳児の発育発達の確認及び疾病の異常の早期発見を図るとともに、必要な保健指導により乳児の健全育成と保護者の育児支援を図る。	受診率:99.8% (対象者 453 人、受診者 452 人)
1歳6か月児健康診査	集団健診。異常の早期発見に努め、心身障害の進行を未然に防止するとともに、生活習慣の自立、栄養その他育児に関する指導により幼児の健全育成と保護者の育児支援を図る。	受診率:99.6% (対象者 494 人、受診者 492 人)
3歳児健康診査	集団健診。内科、歯科、視力、耳鼻科を含む総合的な健診を行い、疾病の早期発見のみならず幼児の健全育成と保護者の育児支援を図る。	受診率:97.7% (対象者 520 人、受診者 508 人)
幼児精密健康診査	医療機関委託。各種乳幼児健診の結果、診断の確定について不十分な点を補うため、専門医療機関の協力を得て実施。	対象者 25 人 (内訳) 異常なし 9 人、経過観察 13 人、要治療 3 人
3歳児精神精密検査	児童相談所の心理士がことばや発達の悩みを持つ保護者を対象に相談に応じている。予約制。	開催回数:年 4 回 利用者:19 人

■予防接種事業■

事業名	事業概要	2017年度 実施内容
集団接種:BCG 個別接種: ・ヒブ・肺炎球菌・ B型肝炎・不活化ポリオ・4種混 合・BCG・水痘・MR・日本脳炎・ 子宮頸がん	予防接種法に基づき、各予防接種を実施する。 (実施場所) 集団接種:市民センター 個別接種:医療機関	集団接種:12回(月1回) 467人 個別接種:延べ接種人数 10,721人

(2)子どもの健やかな成長のための教育環境の整備

■児童館の状況■

施設名	2017年度 年間登録者数(人)			施設概要・活動内容
	児童	保護者	計	
大川児童センター	10,593	84	10,677	・設置・運営主体 伊万里市 ・設置年月日 昭和54年4月1日 ・敷地総面積 859.09㎡ ・設備状況 集会室、遊戯室、図書室、便所

(3)子育て支援の充実

■相談事業(母子家庭含む)■

活動項目	2017年度 実施内容
ひとり親家庭相談	母子・父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭の自立促進に向け、相談・支援・援助を行っている。 相談日:月・火・水・金曜日 時間:9:00～15:45
家庭児童相談室	家庭児童相談員を配置し、家庭における児童の養育のほか、児童に関する問題について相談に応じている。 相談日:月～金曜日 時間:9:00～15:45
妊産婦乳幼児相談	乳幼児の発育や栄養について、保健師・助産師・管理栄養士が相談に応じている。毎月第3月曜日に開催。 定例相談回数:12回 利用人数:妊婦 4人・産婦 46人・乳児 385人・幼児 188人
7か月児相談	BCGの予防接種実施日に合わせて乳児相談を開催し、発育測定と育児相談を実施。 相談日:毎月第1水曜日 開催回数:12回 利用人数:469人
市民健康相談	生活習慣病予防や食生活、運動に関する相談を保健師・栄養士が受けている。また、健診結果に合わせた特定保健指導も実施している。 相談日:毎月第1火曜日
ストレスケア相談	40歳以下を対象とし、自分自身や家族の健康のこと、職場の人間関係や子育ての悩み、それに伴うストレスについて、臨床心理士の相談を開催している。 相談日:毎月第1火曜日(予約制) 開催回数:12回 利用人数:36人
すくすく子育て相談	子どもの発育や発達を支援するため、専門の相談員が保護者の相談に応じている。 開催回数:6回(2か月に1回 予約制) 利用人数:19人
のびっこ相談	臨床心理士がことばや発達の悩みを持つ保護者を対象に相談に応じている(予約制)。 開催回数:15回 利用人数:18人
赤ちゃん訪問事業	乳児のいる全家庭を3か月児健診前に訪問している。また、育児不安の強い保護者に対しては養育支援として継続訪問を実施している。年間を通して実施。 訪問件数:272件
電話相談	妊娠中から就学前までの子育て等に関する電話相談を実施している。 相談件数:1,021件
法律相談	弁護士による無料法律相談 相談日:毎月第2、第4水曜日 10:00～15:00(予約制)
人権相談	人権擁護委員2名による無料人権相談 相談日:毎月第1、第3火曜日(10:00～12:00)
女性相談	DVや夫婦関係・家庭内の心配ごと、子育てに関することなど、女性が抱える悩みに対応するための相談窓口を設置し、専門相談員1名による面接、電話相談を行う。 相談日:毎週月、水、金曜日 9:00～16:00 相談件数:528件 相談者数:76人
青少年相談室	相談員数:6人(交替勤務) 相談種類:電話相談、個別相談(平日 9:00～17:00、土日・祝日・年末年始休み) 相談件数:延べ 155件

■地域子育て支援拠点事業■

活動項目	2017年度 実施内容
育児相談	相談日：毎週月～金曜日、日曜日 9:00～16:00
育児講座、 子育て支援センター行事	ぽっぽママのつどい：毎月第1水曜日 10:30～11:30 つくしんぼランド：毎月第2水曜日 10:00～12:00
子育て支援センター開放	わくわく広場：毎週月・火・木・金曜日 10:00～15:00
支援活動	子育てファミリーサポート事業
機関紙の発行	つくしんぼ通信：月1回発行

■留守家庭児童クラブの状況■

対象児童	小学校全学年の児童(平成29年度までは、小学校1年生から3年生まで)
実施時間	授業がある日：授業の終了後～19:00(平成30年度までは、13:00～18:00) 小学校の休業日：8:00～19:00(平成30年度までは、8:00～18:00)
障害児受入れ状況	既存の施設において受入れが可能な範囲内で、受入れを行っている。

■医療費助成事業■

事業名	事業概要	2017年度 実施内容
子どもの医療費助成事業	中学生までの子どもの医療費の一部負担金から、自己負担額を控除した額を助成。 ◎自己負担額 ○就学前児童 入院 月 1,000 円 通院 月 500 円×2 回 ○小中学生 入院・通院 月 1,000 円	支給件数：98,770 件 支給金額：147,477,584 円
ひとり親家庭等医療費助成事業	20歳未満の児童を扶養する母子・父子家庭に対し、医療費の一部負担金から月 500 円の自己負担額を控除した額を助成する。	支給件数：11,687 件 支給金額：23,401,918 円
身体障害児育成医療給付事業	身体に障害のある児童や現在の状態を放置すると将来的に障害を残すと認められる児童(18歳未満)に対し、障害の除去や軽減が期待できる手術等の治療に係る医療費を給付する。	認定件数：17 件 給付金額：1,352,569 円
重度心身障害者医療費助成事業	重度の障害のある人(①身障手帳1・2級②療育手帳所持者で知能指数35以下③身障手帳3級かつ療育手帳所持者で知能指数50以下)の医療費の一部負担金から月 500 円の自己負担額を控除した額を助成する。	支給件数：29,227 件 支給金額：101,370,859 円

■手当の給付■

事業名	事業概要	2017年度 実施内容
児童手当の支給	中学校修了前までの児童を養育している家庭に対し、児童手当を支給する。 ・3歳未満 月額 15,000 円 ・3歳以上小学校修了前 第1子・第2子 月額 10,000 円 第3子以降 月額 15,000 円 ・中学生 月額 10,000 円	支給件数:89,307 件 支給金額:1,016,015,000 円
児童扶養手当の支給	ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援するため、母子・父子家庭等に児童扶養手当を支給する。	支給人数:656 人 支給金額:313,500,940 円
特別児童扶養手当	身体又は精神に中程度以上の障害がある20歳未満の児童を監護・養育する保護者等に対し、手当を支給する。	※支給決定、支払は佐賀県が実施している。
障害児福祉手当	心身に重度の障害があり特別の介護を必要とする在宅の20歳未満の者に対し手当を支給する。	支給人数:37 人 支給金額:5,672,900 円

■育児等健康支援事業■

事業名	事業概要	2017年度 実施内容
母子保健推進員活動事業	地域の中での身近な相談員として、自分の子育て経験を通じての助言や心理的サポートを行う。	学習会・研修会参加人数:156 人 予防接種・健診等受付介助人数:64 人
7か月児相談	BCG 予防接種と同時開催し、発育測定と育児相談を実施し、育児の悩みや発育の悩みに対する支援を行う。	相談回数:12 回 利用人数:469 人
妊産婦乳幼児相談	子育てに関する相談等に対応し、育児不安の軽減を図るとともに育児の孤立化を防ぐ。また離乳食を始める時期において、離乳食の目的意義及び進め方について情報の提供を行う。	定例相談:12 回及び随時相談 利用者合計: 妊婦 709 人・産婦 114 人 乳児 476 人・幼児 328 人
養育支援訪問	保護者の養育を支援することが特に必要と認められる幼児及び保護者に対し、その養育が適切に行われるよう居宅を訪問し、相談、指導、助言その他必要な支援を行う。	保健師訪問:154 人 助産師訪問:47 人
すくすく子育て相談	発育や発達に不安を持つ保護者を対象に個別相談を開催し、必要に応じて専門相談機関を紹介している。	相談回数:6 回 利用人数:19 人
妊婦わくわくクラブ	妊婦や配偶者、家族を対象に、母子保健の公的サービスの紹介、予防接種やスキンケア、むし歯予防などの子育て情報、赤ちゃんモデルを使った両親学級などを開催し、出産後の子育てに関する支援を行っている。	開催回数:4 回コースを年 3 回 参加者数:妊婦 71 人、配偶者 30 人
ベビーマッサージ教室	母と子のスキンシップ等の大切さについての育児学級を開催し、母子愛着の大切さを保護者に情報提供している。	開催回数:10 回 利用人数:188 人
5歳児わんぱく相談	スムーズに就学できるように、年中児を対象に、コーディネーター(相談員)が幼稚園・保育園を巡回して行う相談。	利用施設数:17 園 利用人数:65 人 延べ 260 人

(4)支援を必要とする子どもなどへの支援の充実

■児童虐待の状況■

区分	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
相談件数	1,099 件	869 件	982 件	978 件	1,378 件

■虐待防止ネットワークの設置状況■

事業名	事業概要(設置年度、内容、参加状況等)
家庭児童相談事業	要保護児童対策協議会の設置(H18.12.1) 構成団体数:17 団体 全体会議:年 1 回 実務者会議、ケース会議:適宜

■障害児の保護者に対する福祉サービス■

事業名	事業概要	2017年度 実施内容
心身障害者扶養 共済制度	保護者が生存中に一定額の掛金を納付することで保護者が死亡、または、重度障害者になったとき、障害者に終身一定額の年金を支給する。	受給者:6 人 加入者:21 人
日常生活用具 給付等事業	重度障害者に対し日常生活の便宜を図るため、介護・訓練支援用具等の日常生活用具の給付を行う。	件数:395 件 金額:11,107,658 円
補装具交付事業	身体障害者の障害を補い、より日常生活や社会生活を容易にするための補装具の購入及び修理に係る給付を行う。	件数:158 件 金額:15,179,427 円
軽度・中度難聴児 補聴器給付事業	身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中度の難聴児に対し、補聴器の購入及び修理に係る給付を行う。	件数:1 件 金額:182,600 円
小児慢性特定疾病 児童等日常生活用具 給付事業	小児慢性特定疾病児童等(障害者総合支援法による施策の対象とならない場合に限る)に対し、日常生活用具の給付を行う。	件数:2 件 金額:215,626 円
短期入所 (ショートステイ)	自宅で介護する人が病気の場合などに障害者支援施設などに短期間の入所をさせ、食事や入浴、排泄等の介護を行う。	件数:382 件 金額:35,451,706 円
児童発達支援	小学校就学前の障害児に日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練などを行う。	件数:556 件 金額:33,664,592 円
放課後等デイサービス	学校(幼稚園、大学を除く)に就学している障害児に、生活能力の向上のために必要な訓練などを行う。	件数:742 件 金額:59,322,678 円

(5)子育てと社会参画の両立への支援

■子育てと社会参画の両立への支援に対する福祉サービス■

事業名	対象者等	事業概要
子育て講座	市民	男性の家事・育児参画を促進するため、パパセミナーや親子ふれあい講座、両親教室など、「子育て講座」をテーマごとに開催(年4回)。
ワーク・ライフ・バランスセミナー	市民、事業所、高校生	市民や事業所、高校生等を対象にワーク・ライフ・バランスセミナーを開催し、働き方や暮らし方の見直しや、働きやすい職場環境づくりを促進している。
家庭や地域における性別役割分担意識の是正	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・男女協働参画に関する学習会や出前講座を実施 ・広報いまりに啓発記事(年4回)と特集記事(年1回)掲載 ・情報紙「プラザだより」の発行(年2回) ・啓発パネル展の開催(年3回)

■保育所等のサービス■

事業名	事業概要	2017年度 実施内容
障害児保育	保育が必要で集団保育が可能な障害児を、健常児との集団保育が適切に実施できる人数の範囲内で受け入れて行う保育	すべての保育園・認定こども園等で実施
延長保育	通常の保育所開所時間の前後に、時間を延長して行う保育	すべての保育園・認定こども園等で実施
一時預かり	保護者の勤務・病気・育児疲れ解消等の理由により、一時的に(週3日以内程度)保育が必要な児童に対して行う保育	すべての保育園・認定こども園1園で実施
休日保育	日曜や祝祭日等に保護者の勤務等により、保育が必要な児童に対して行う保育	保育園・認定こども園等での実施なし 子育て支援センターぽっぽにおいて実施
病後児保育	病気の回復期にある就学前の児童を、専用の保育室で看護師等の専門スタッフが預かる保育	保育園・認定こども園等での実施なし 伊万里市立母子生活支援施設すまいる内において、市直営で事業を実施

(6)安全・安心まちづくりの推進

■子ども等の安全の確保に係る事業等の実施状況■

事業名	事業概要
子ども見守り隊	市内各地区において、登下校時の立哨指導や、公用車(自主防犯活動用自動車)によるパトロールなどを実施。

■子どもや親に対する交通安全教室、防犯指導等の実施状況■

事業名	対象施設	事業概要(時期、内容、参加者数)
交通安全啓発事業 交通安全指導員事業 交通対策協議会支援事業 防犯協会支援事業	保育園、幼稚園、 小学校、中学校	<p>子どもの交通安全対策については、交通対策協議会や関係団体と連携し、保育園、小学校、中学校において交通教室が開催される際に地元の駐在所、交通安全指導員が講師として参加し、子どもの交通安全意識の向上を図った。</p> <p>また、通学時には交差点等において交通安全指導員による街頭指導を行い、小、中学生の通学路における安全を確保した。</p> <p>このほか、小学校の新1年生全員に黄色いランドセルカバーを贈呈するとともに、「新入学児童を交通事故から守る日」には、各小学校の通学路において新入生の保護者及び交通安全役員等による通学指導を市内一斉に行った。</p> <p>さらに、警察や防犯協会と連携し、新入学児童全員への防犯ブザーの給付や学校において不審者対策・防犯講話を実施した。</p>

■「子ども110番の家」等緊急避難場所の設置状況■

事業名	事業概要(設置件数等)
子ども110番の家	<p>伊万里市小学校連合 PTA で把握している。</p> <p>平成 27 年度 住宅 443 件 店舗 268 件 その他 11 件</p> <p>平成 28 年度 住宅 453 件 店舗 287 件 その他 12 件</p> <p>平成 29 年度 住宅 441 件 店舗 292 件 その他 11 件</p> <p>平成 30 年度 住宅 265 件 店舗 197 件</p> <p>※伊万里市小学校連合 PTA において、例年4月1日現在で調査を依頼。</p> <p>※小学校区で登校経路が同じで、中学校も含む。</p> <p>※西九州道路の工事により、施工業者の協力もいただいている。</p>

3 伊万里市子ども・子育て会議条例

平成25年9月24日

条例第20号

(設置)

第1条 子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号。以下「法」という。）第77条第1項の規定に基づき、伊万里市子ども・子育て会議（以下「子ども・子育て会議」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 子ども・子育て会議は、法第77条第1項各号に掲げる事務を処理する。

(組織)

第3条 子ども・子育て会議は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

(1) 子どもの保護者

(2) 事業主を代表する者

(3) 子ども・子育て支援に関する事業に従事する者

(4) その他市長が必要と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員補充による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第5条 子ども・子育て会議に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、子ども・子育て会議を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 子ども・子育て会議の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 子ども・子育て会議は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 子ども・子育て会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係者の出席等)

第7条 会長は、必要があると認めるときは、子ども・子育て会議の議事に関係のある者に対し、出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第8条 子ども・子育て会議の庶務は、市民部において処理する。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、子ども・子育て会議の運営に関し必要な事項は、会長が子ども・子育て会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成２５年１０月１日から施行する。
(伊万里市報酬及び費用弁償条例の一部改正)
- 2 伊万里市報酬及び費用弁償条例（昭和３１年条例第２９号）の一部を次のように改正する。
〔次のよう〕略

4 計画策定の経緯

平成30年度

月 日	内 容
平成30年 10月11日	ワーキンググループ（第1回） ・第2期子ども・子育て支援事業計画について ・ニーズ調査内容の協議
10月18日	策定委員会（第1回） ・第2期子ども・子育て支援事業計画について ・ニーズ調査内容の協議
10月24日	子ども・子育て会議（第1回） ・第2期子ども・子育て支援事業計画について ・ニーズ調査内容の協議 ・子育て支援に関する意見交換
11月～令和元年6月	ニーズ調査実施及び集計、分析

令和元年度

月 日	内 容
令和元年 6月14日	ワーキンググループ（第2回） ・第1期子ども・子育て支援事業計画の評価 ・ニーズ調査を踏まえた教育・保育の「量の見込み」の検討
7月12日	策定委員会（第2回） ・第1期子ども・子育て支援事業計画の評価 ・ニーズ調査を踏まえた教育・保育の「量の見込み」を審議
11月15日	ワーキンググループ（第3回） ・事業計画書（素案）の協議
11月21日	策定委員会（第3回） ・事業計画書（素案）の協議
12月17日	子ども・子育て会議（第3回） ・事業計画書（素案）の協議
令和2年 1月6日～31日	パブリックコメント実施
2月～3月	県との協議及び計画案調整
3月31日	第2期伊万里市子ども・子育て支援事業計画策定

5 伊万里市子ども・子育て会議委員名簿

平成30年度

		団 体 名		氏 名
子どもの保護者	1	子育てサークル	代表	中島 千秋
	2	保育園保護者	みなみ保育園 保護者会代表	橋口 浩二
	3	幼稚園保護者	黒川幼稚園 育友会長	石丸 万里
	4	伊万里市小中学校連合PTA	会長	前田 勉
子ども・子育て支援関係従事者	5	保育園（伊万里市保育会）	会長	樋渡 智子
	6	幼稚園（カトリック幼稚園）	主幹教諭	松尾佐起子
	7	認定こども園（伊万里幼稚園）	園長	梶山 紀生
	8	地域型保育事業所（愛育園）	会長	草場 里美
	9	伊万里市小中学校校長会	会長	小田 幹之
事業所	10	伊万里市農業協同組合	人事係	岡 龍太郎
	11	伊万里信用金庫	総務部長	谷口 周作
その他	12	伊万里市民生委員・児童委員協議会	会長	清水 正彰
	13	伊万里有田地区医師会	理事	伊東 雅樹
	14	伊万里市母子保健推進員会	代表	古場伊津子
		14団体		14名

令和元年度

		団 体 名		氏 名
子どもの保護者	1	子育てサークル	代表	平島 秋菜
	2	保育園保護者	川東保育園 保護者会代表	加藤奈津美
	3	幼稚園保護者	黒川幼稚園 育友会長	塚本 直子
	4	伊万里市小中学校連合PTA	会長	前田 勉
子ども・子育て支援関係従事者	5	保育園（伊万里市保育会）	会員	池田 まみ
	6	幼稚園（カトリック幼稚園）	主幹教諭	松尾佐起子
	7	認定こども園（伊万里幼稚園）	園長	梶山 紀生
	8	地域型保育事業所（愛育園）	会長	草場 里美
	9	伊万里市小中学校校長会	会長	木寺 仁史
事業所	10	伊万里市農業協同組合	人事係	岡 龍太郎
	11	伊万里信用金庫	総務部長	谷口 周作
その他	12	伊万里市民生委員・児童委員協議会	会長	清水 正彰
	13	伊万里有田地区医師会	理事	伊東 雅樹
	14	伊万里市母子保健推進員会	代表	古場伊津子
		14団体		14名

6 伊万里市子ども・子育て支援事業計画策定委員会委員

職 名	役 職	氏 名
委員長	市民部長	桑本 成司
副委員長	教育部長	中野 大成
委 員（市民部）	健康づくり課長	樋口奈美江
委 員（ 〃 ）	子育て支援課長	前田 文博
委 員（教育委員会）	教育総務課長	梶原 貴英
委 員（ 〃 ）	学校教育課長	中尾 聡彦

7 ワーキンググループ員

所 属	役 職	氏 名
健康づくり課	保健予防係長	城島ゆかり
子育て支援課	子育て支援係長	松永 智江
	保育係長	井上 泰志
	子育て支援センター ぽっぽセンター長	山口 弥生
保育園	主任保育士	福田 和子
教育総務課	留守家庭児童クラブ係長	太田 美鈴
学校教育課	指導主事	西 大輔
幼稚園	教務主任	地原 直美